京城日報

四日夕刊
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介　發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

支那の形勢

▲督軍側張勳を戴かん

張勳氏が北上せざるは在天津督軍が密議の結果北上の時期尚早しと張氏に打電し之を阻止せる爲めなり彼等は將來張氏を督軍團軍隊の總指揮官たらしむる魂膽なり（北京特電）

▲倪軍二千天津に到著

倪嗣冲氏は二日兵二千を帥ゐて天津に到著せり（北京電報）

▲張勳、領袖連と協議

張勳氏は二日夜入京の筈なりしが豫定を變更し一兩日間は天津に止まりて目下同地に集まれる進步黨及び北洋派の領袖連と協議すべし（北京特電）

▲張敬堯麾下鐵橋占領 列車檢閲を開始す

張敬堯氏麾下の第七師兵は京漢鐵道の黄河鐵橋を占領したり同鐵道の運輸狀態は各列車に對し檢閲を行はるゝ外は平日と異る所なし（北京特電）

▲又復黎總統の辭職說

黎總統は張勳氏の來京と同時に辭職するに決し既に其の準備を整へたるが二日夜是れに關し數名の秘書は天津方面に赴けりとの說あり（北京特電）

◎英食糧監督官辭職

英國公報に曰く食糧品監督官デボンポート卿は健康不良の爲め辭職せり（倫敦電報）

◎露國勞働者の要求

ペトログラードに於ける百二十個所の最大軍需品製造工場に就業する勞働者は婦人の勞働時間を一日六時間とし且其の最小給料額を一箇月百五十留と爲すべしと要求し若し此要求にして容れられずんば同盟罷工を敢行すべき旨決議せり（倫敦電報）

◎ニコラス大公逮捕說

倫敦來電＝ニコラス大公はトランス、コーカサスのチフリスに於て王黨の擾亂起れる結果遂に逮捕せられたりとの報道電報交換社の在ペトログラード通信員に依りて傳へられたり（紐育電報）

◎獨逸潜艇根據地を求む 米國々務省の通報

米國々務省は獨逸が潜水艇根據地としてヴエネズラ國のマルガリタ島を獲取せんとしつゝある情報に接し同島大統領ゴメズ氏に通報を發したり（紐育電報）

◎元老會議開會

四日午前十時五十分外交調査機關設置の件に就き元老會議を開きたり（東京電報）

◎外交調査會官制要領

臨時外交調査會官制として傳へらるゝもの左の如し（東京電報）

一、外交に關する重要事項を調査研究す
二、總裁及び委員にて組織す
三、總裁は總理大臣を以て之に充つ
四、委員は現大臣又は曾て大臣たりしもの若しくは親任官の中より選任す

◎歡送迎準備

李王殿下並に長谷川總督東上の際釜山官民は歡迎送の意を表する爲官民の重なる人々參集協議中也（釜山特電）

◎隈侯大阪出發

滯阪中の大隈侯は四日朝出發歸東の途に就けるが途中名古屋に立寄るべし（大阪特電）

◎遞信顧問危篤 旭日大綬章下賜

遞信省顧問官一等英國人ストーン氏危篤の旨天聽に達し同氏多年の功勞を思召され旭日大綬章を賜はりたり（東京特電）

◎齋藤聯隊長著任

新任大邱第八十聯隊長大佐齋藤常三郎氏は四日朝入港の高麗丸にて釜山著同十時三十分發列車にて赴任せり（釜山特電）

◎菊池幽芳氏來鮮

大阪毎日新聞記者菊池幽芳氏は金剛山探勝の爲め三日夜入港壹岐丸にて來鮮釜山上陸同夜大池旅館に投宿せるが四日午前十時三十分發列車にて京城を經て金剛山に向ひたり（釜山特電）

◎停車場決定

咸興停車場設置の位置決定し敷地六萬七千坪及び附近の線路敷地二哩を買收せり而して其の位置は大和町入口道路終點東門外なり（元山特電）

◎醫院官制改正

道慈惠醫院職員定員中改正の件は一日附訓令を以て五日の官報に發布の事となれり、本令は今回勅令第五十五號に依り地方官々制改正され道慈惠醫院醫官を分ちて醫長醫官に改むることゝなれる結果にして從來は醫官四十一人なりしもの醫長二十三人、醫官十八人に改正さる

◎李王御旅程

李王殿下御東上の件は本紙所載の通りなるが其の御旅程左の如く御治定相成りたり

六月八日	京城御出發釜山御著
六月九日	直ちに御乘艦 下關御著同地御一泊
六月十日	下關御發舞子御著同地に御一泊
六月十一日	舞子御發名古屋御著同地に御一泊
六月十二日	名古屋御發東京御著
六月十三日	東京御滯在
六月十四日	同
六月十五日	同
六月十六日	同
六月十七日	同
六月十八日	同
六月十九日	東京御發三島御著同地に御一泊
六月二十日	三島御滯在
六月廿一日	三島御發京都御著
六月廿二日	京都御滯在
六月廿三日	同
六月廿四日	京都御發宮島御著同地に御一泊
六月廿五日	嚴島御觀覽
六月廿六日	宮島御發下關御著同地に御一泊
六月廿七日	下關御發御乘艦
六月廿八日	釜山御著直ちに京釜線列車に御搭乘京城御歸還

◎警務總長訓示

衞生課三浦洞細菌檢査室に於て四日より開會の公醫講習會員一同は午前九時總監部に到り樓上會議室に於て古海總長の訓示を受けたるが列席者は芳賀院長、大橋少佐、齋藤副官、早川、兒島兩技師等にして一同は其れより三浦洞細菌室に赴きたり

◎親しく拜したる王世子殿下

子爵 李秉武氏談

李王世子殿下陸軍士官學校御卒業につき祝賀のため過般東上せし李秉武子、趙東潤男、金春熙男等の歸京を出迎へたるに主として李秉武子は語つて曰く今回我等の東上したるは李王世子殿下の士官學校御卒業の祝賀の爲めでありました士官學校卒業式の當日なる二十五日は午前九時より天皇陛下士官學校に行幸あらせられ卒業式を擧行せらるゝ爲めに先づ

▲第一番に殿下は卒業證書を受けられました。式は午前中に終了しそれより敎室に於て殿下の銃槍試合を天覽あらせられましたが世子の活潑なる動作は吾々の喫驚する處でありました。正午殿下は學校内に校長以下敎官及び職員を招待して午餐會を催されました殿下は其日直ちに近衞師團第二聯隊に御入營相成り翌二十六日宮城に參内いたし夫々御機嫌を奉伺し御禮を申上げたる處畏くも天皇陛下より

▲銀製花瓶一對を又皇后陛下よりは腕付金時計を下賜せられました殿下は二十六日鳥居阪御用邸で晚餐會をお開きになり吾々もお招きに預り種々と御懇談を賜りましたが更に二十七日には芝離宮に學校長以下二百餘名の軍人を招待して晚餐會を開きました二十八日同じく芝離宮に東宮殿下を始め宮相及び宮内省各官吏六十餘名を御招待晚餐會を催し二十九日には同じく芝離宮にて久邇宮殿下を始め

▲首相陸相其他各大臣參謀長等七十二人を招待せられました我等は三十一日東京出發歸鮮の途に就きしが殿下には特に吾々に花瓶一個宛下賜せられましたが我等上京中東宮殿下より特に拜謁を仰付かりましたのは此上もなき家門の光榮として永く子々孫々に傳へたいと思ひます、王世子殿下には留學十一年間一日の御缺席もなく極く御壯健に學術其他に於て非常に優位を占められ殊に英語に熟達されて居りますが今回我等の東上に對し非常に滿足せられたやうであります云々

◎李堈公御挨拶

李堈公殿下は四日午前十一時總督府に長谷川總督を訪問故李埈公家嗣子の件に付き懇篤なる御挨拶あり十時三十分歸邸されたり

◎忠北長官出府

忠淸北道長官柳樂達藏氏は總督府と事務打合せの爲三日附を以て出府を命ぜられ三日夜南大門驛著入京したり

◎牧山代議士東上

衆議院議員牧山耕藏氏は四日夜南大門驛發汽車にて東上

◎岡田氏滿洲出張

總督府專賣課技師岡田虎輔氏は製造煙草販賣狀況視察の爲め六日南大門驛發汽車にて滿洲方面に出張の事となれり、視察地は奉天、吉林、大連、營口、熊岳城其の他滿洲一圓にて約三週間の豫定なり

◎海老名氏等出發

入京以來熱心各方面の傳道に從事せる海老名米澤兩牧師は四日朝渡瀨牧師と共に平壤に向け出發せり

◎今村道部長出張

今村京畿道第二部長は四日朝出發水原へ出張

◎吉村副參事逝去

鐵道局副參事吉村種相氏は豫て胃癌の爲め四月來東京赤坂區檜町八番地の自宅に轉地し大學病院の治療を受け來りしが去二日夜遂に逝去したり危篤の報に接するや特旨を以て位一級を進められ從五位に敍せらる、享年五十八嗣子種徹（十八）外に三男あり、葬儀は四日午後二時東京自宅出棺佛式を以て營まる、尚ほ八日午後四時半龍山鐵道俱樂部に於て追悼式を擧すべしと氏は官途に三十有七年母國に臺灣に朝鮮に終始一貫鐵道に從事し精勵最も鐵道事務に精通せるを以て名あり今や溘焉として逝く誠に惜むべし

═候補歷訪═

✕河村千治郎君

南大門の裏表を始め市中あらゆる目抜の場所に推薦の大招牌を押樹て今や全力を盡して奮戰中なる河村千治郎君を訪ふに君は今しも二三の運動員と打連れて出馬しやうとする出會頭に歷訪記者の名刺を取次の小僧から受取つてチヨツと舌打をしながら『御主人は今居りません』と白々しい御挨拶これだから十數回も往つても面會の能きなかつたのも無理もない。しかし河村君の鼻と頰先の色艶のいゝ事を豫め聞いて居られ位不用心の訪問記者は一人だつて居られぬ、貴君は確に御主人だと圖星を指すと實は今忙しいしそれに自分は何んの意見も抱負もないから此の男から聞いて下さいと店員の松本君を紹介する、松本君は頗る形勢面白からずと悲觀したやうな事を云つて聞かせるがこれも『御主人は只今居りません』の方で宛てには成らぬ、なんでも天日氏の地盤を其儘貰つて居るから大丈夫だそれから南大門通五丁目、御成町、蓬萊町全部蛤洞も皆んな手の物だから安心には安心だがしかし小杉氏が控へて居るから心配には心配だと御商法柄不得要領であつた

✕肥塚正太君

別に君は運動員も使はず事務所と云つた風のものもない、唯一人朝から晩まで步き廻つて運動をやつてゐる、一人で三人分も五人分もの運動をやる積らしい自宅には仲々ゐない、留守居の人は『稀に歸つても自宅では餘り選擧の事は話さず、自分一人の胸の裡に收めてゐるやうです、形勢がどうであるか、又ドンナ方面に地盤があるのかよく分りません』と云つてゐた、然し君は蓬萊町一圓が其地盤で、そこから約百票近くを獲る事は難事ならずとの評もある、それに『コツ〳〵』と素に有權者を歷訪してゐるので、一部の人々の同情はあるやうだ、但し門外は混戰中の混戰と云ふ事だから君の腰も仲々落ちついてゐないであらう

✕高木壽君

旭町一丁目の事務所に行くと、參謀やら運動員やらが四五人も詰めてゐて仲々賑やかだ、主人の壽君は頭髮を鮮やかに分け綺麗に捻り上げたハイカラの人だ『初陣だから一寸心配なやうにもあり、御蔭で色んな關係から動かない票數が△△ばかりあり、それを基礎として方々に運動を試みてゐますから當選圈内に入つてゐる事は確だとは思つてゐる、然し無記名の單記なもので、明けて見ねば其の實體は分りかねます、私もアチコチ御願みに出てゐるが、ドコに行つても仲々の混戰ですね、俺の地盤は何町と何町だなぞと云つてゐる人もあるが、靜に吾の方で當つて見るとフキ出したくなるやうな所もあります……立候補の動機ですか、先づ勢ひです勢ひに乘じて出たのです御相談の中の候補者に立會演說をさせたらよからう、それだと私等も及ばずながらやりますがね』などと云つてゐた、四日午前十一時、これから一同出馬しやうと云ふ所である

✕池田長兵衛君

明治町の貸會社を其の本陣として立候補を宣した池田君は本町二丁目に十六年も住んで居ると云ふので一丁目二丁目附近は氏の固い地盤らしい『どうです形勢は？いや私の方は昨日迄商賣をやつて居まして此れから四五日眞面目にやる積りです運動員は二十人許りも居るでしよう古物商とか商業會とか云ふ主に内輪の取引緣故者がまあ私の地盤です商賣の關係者に八十票それに種々な加へますと百票は確かと自信して居るが二百票は取らなければ駄目だと云ふので有權者一人を今買つて來た樣な次第です一人が假に一票づゝ世話して呉れても二百票には成る譯でさあ……昨今は形勢不穩ですからねでも落選人の部類へ入れられ度くはないしさりとて獨りで無暗な不用の票數を得樣と云ふ譯な考へも持たないし議員になれば利に差異のある譯のものでもないから尻つぽにでも當選さへすれば其れで良い譯です……』

▲記者曰く、三日夕刊本欄中、田中半四郎氏と高山孝行氏の訪問記が全部二號活字で出たが、あれは組み誤まりで五號の筈であつた、決して人によつて差等を附けた譯で無い事を明かにして置く

◎朝鮮の銀行會社

朝鮮銀行の調査に係る最近鮮内會社現在數並に拂込資本金を其の組織別及び事業別に示せば左の如し

種別	社數	拂込資本金
株式會社	一三三	四二、七八六、七五〇圓
合資會社	六四	二、六二二、二六〇
合名會社	二五	一、一三五、一五〇
計	二二二	四六、五四四、一六〇

又之れを事業別に示せば社數に於て商業の八十五社最も多く工業四十一社、運輸二十七社農業二十社瓦斯電氣十三社等之れに亞ぐ乃ち左の如し

業別	社數	拂込資本金
農業	二〇	二、一四三、九〇〇圓
中央銀行	一	三、五〇〇、〇〇〇
林業	三	一四〇、〇〇〇
水產業	二	一六、〇〇〇
鑛業	三	二、一七五、〇〇〇
拓殖業	一	一〇、〇〇〇、〇〇〇
工業	四一	一、八三三、三三〇
瓦斯電氣業	一三	一、〇二九、九一〇
商業	八五	四、九一二、九〇〇
普通銀行	一二	三、三九〇、〇〇〇
農工銀行	六	一、四六九、八九〇
信託	五	一三一、〇〇〇
運輸	二七	六、五二七、二五〇
金融	三	一八五、〇〇〇
合計	二二二	四六、五四四、一六〇

◎軍政府組織

天津に於て徐世昌氏大元帥の下に軍政府組織されたり（北京特電）

◎金剛山ホテル開業

多年休業中なりし朝鮮ホテル分館金剛山ホテルは例年の如く六月一日より開業し探勝及び避暑客の便利を圖る

◎大田收容所問題

大田行旅病人收容所設置の件に付き大田各宗主任の第二回會議は三十日淨土宗大淨寺に於いて開會の筈なりしも都合に依り流會となりたる爲め更に午後七時より本派本願寺に於いて開會同會の法人名稱を如何に附すべきや否は宿題となり同會の規則其の大要を附議可決し建築費及び維持費豫算の件を附議したるも未だ具體的の成案を見るに至らず宿題として散會したりと因みに郡廳に於て設計したる家屋新築費は約一千圓なれば其の他設備費經常費等を加算計上せば多大の不足を告ぐる筈に付更らに種々研究の必要あるべしと（大田）

◎奈良教育視察團

奈良縣教育視察團二十六名は六日朝入港連絡船高麗丸にて來釜釜山市内を視察し同夜十一時發列車にて水原に赴き同地勸業模範場を觀覽したる上京城に入る筈（釜山）

◎蒙邊道縣計畫

遼源縣は東蒙の要地なるを以て奉天當局は過般縣署を鄭家屯に移して附近の治安維持に資したるが面積廣大にして政令普及に及び難きより今回遂に附近を同縣より分離して別に一縣と爲し白音他來に縣署を設け通遼縣と命名したるが戸口未だ僅少にして收支の不足甚だしきを以て之れを三等縣とする計畫にて來る六七月頃達爾罕王旗の荒地開放完了と共に實施する筈（奉天）

═仁川═

▲五重大法要修行 仁川寺町明照寺にては五日午後一時四十分廣安寺隨從僧正を迎へ六日より十日迄五日間五重大法要修行を行ふ由說敎は五六七の三日間午後二時及び午後八時の二回宛あり十一日午後一時より觀敎並に御禮拜の後驛より歸山すべしと

═群山═

▲叺會議未決 群山叺組合組織に關する叺業者の委員協議會は既報の如く去月二十八日午後米穀組合事務所樓上に開かれたるが相變らず甲論乙駁何等決する處無く解散したり▲群山商業會議所新築敷地問題に關し二十九日午後委員會を開催したるが凝議の結果第一候補地たる敷地々主に對し二條件の交涉を爲し地主との交涉纏まりたる後決定する事とし次第建築委員會を開催し建築問題を決定すべし

═晉州═

▲金融組合長會議 本道廳に於ては管内の金融組合長を召集し二日午前九時より道廳會議室にて開會道長官所部長臨席したるが三日を以て終了の筈也▲警官練習所新入者 本年度より總監部に新設したる警官練習所は近く開所せらるゝに付き本道よりは中島晉州署長鈴木釜山署長釜山署大津警部の三氏なり▲在來種新繭出づ 當地にては在來種新繭一日の市場に相當澤山出でたるが相場は格別前年と大差無く漸次下落の狀況を呈し居れるが品質は前年と異なりし事なし▲大井副官出發期 本道警務部副官大井博亚氏は副官會議參列の爲め來る九日頃を以て當地出發の豫定なりと云ふ

人事消息

▲上田駿一郎氏（京城高等普通學校敎諭）三日夜内地より歸京
▲奥田龜造氏（鳥取縣代議士）三日午後元山より入京朝鮮ホテルへ
▲柳樂達藏氏（忠北道長官）同日入京仁寺洞の自宅へ
▲渡邊義一氏（騎兵第二十七聯隊附一等獸醫）▲柏原龍氏（騎兵二十五聯隊附獸醫）同上
▲持地六三郎氏（土木局長）四日午前新義州より歸任
▲松下頴二氏（醫學博士）四日午前内地へ
▲カーチス氏（京城駐在米國總領事）四日午後成歡より歸京
▲佐藤良治氏（江原道平康郡長）四日午前赴任
▲中原晴起氏（東京電氣技師）四日朝入京
▲南日鎭雄氏（海軍大佐）▲土師勘四郎氏（同）四日朝歸京
▲工藤平南道長官 同上
▲野口次郎三氏（畜產技師）二日附黃海道へ出張を命ぜらる
▲國枝直氏（土木技師）同日附平安南道へ

御召艦は肥前と承はる

桃山御陵御參拜＝三週間の御旅

李王殿下御東上の日程は既報の如く月の八日から廿四日まで三週間の御旅である、而して京城御出發の八日は釜山御著後直ちに御乘艦、光榮ある御召艦は軍艦肥前（一二七〇〇噸）と承はる、また下關御著の九日は同地御一泊、十日は

◇松の舞子の 御遊覽あり

十一日は更に名古屋御一泊のことゝなる、かくて東京御到著は月の十二日、御旅館芝離宮には十二日より十九日まで八日間の御滯在と承はる、その間には參内 天機奉伺の儀をはじめ皇室の御饗待とりどりなるべく

◇御盛儀の程 拜察するだに畏こきである、かくて十九日は東京御出發、東海道三島の勝地にて李王世子殿下の御別邸に入られ此處より富嶽の雪を御賞覽ある筈、廿日は更に同地御滯在駿河の海の御感興もさこそと拜察される次第である、廿一日は更に三島發京都の御滯在、京都の御三泊中には

◇先帝陛下の 桃山御陵にも御參拜の儀を承はる、かくて二十四日には一路山陽線の御西下あつて宮島の御一夏を御覽あり二十五日嚴島神社御參詣の上翌日御發下關に向はせられる筈廿七日下關にては再び肥前御乘艦、玄界の波浪如何なるあたり殿下の御旅情を慰めつゝ廿八日釜山御上陸、直ちに特別列車にて御歸還の儀と承はる

若葉蔭の樂しき御逍遙

夏の御趣味＝李王殿下の御近狀

來る八日東上せらる可き李王殿下平素のお住は若葉がくれの昌德宮の朱殿、大造殿がそれである、しかし公の謁見などには時に仁政殿わきの宵死ぶきの宣政殿で遊ばされる、大造殿では温突に起臥され

♣別に西洋風の家が あるけれ共この方にはお住ひはない 御食事は主に朝鮮の御料理を召され時に興膳味からすゝめる洋食も召されるそれに春は仁政殿前の牡丹の宴を開かれるのが恒例となり毎年總督以下の主立つた人を招待される初夏はこのころから時々昌德宮秘苑内の御散歩がはじまり新綠に圍まれた水亭の夕庭前の池に

♣燈籠などを流され ることもある、それに秋も同じく庭内を御巡覽、多くは主として植物本館に熱帶植物の常夏の花をめでられる、尤もそれは主として毎週の木曜日がお定りとなつてゐる、——序に昌德宮内の、動物園も御覽になることもある、殿下は御趣味としては撞球が最もでこれまでリウマチスをお惱み前までは毎日殆んど御日課のやうにキューを持たれた、そして午後の

♣二時から四時頃迄 は毎日必ず仁政殿の廻廊に出られて此處にて四方山のおはなしなどを聽かれたものである、併し只今でも矢張時には球臺に向はれ妃殿下などにもいろいろとお球の御講義がはじまることもある殿下は幼少の昧分から兎角御健康が勝れさせぬのであつたけれども御記憶は非常に深く平素からなんでも御心にとめてゐられる曾て

♣寺内前總督の時分 も何かの御宴の席上で御先祖の宗陵の御謁しが出た時『あれは自分の十七代前の先祖の陵である』と仰せられたこともある、それに御孝心深いことは洵に感心すべきことであつて德壽宮の仰せなればどんなことでも守られる、これについては曾てあれほどお嗜きな烟草を控へられたともある位ゐ餘程御孝心深く被在られる

♣下々の者にもお憐 み深く常に女官から御輿擔ぎ（庭官）の人々にまで特に御下賜の品などがある、殿下はこれまであまり昌德宮の深宮にばかりおいでになつた、これから時々御出ましになれば御元氣になられるであらう

珍らしい 朝鮮の鳥 —1—

◇◇◇◇朝鮮は鳥類の樂園地 世界第一の鶴の產地◇◇◇◇

朝鮮は亞細亞大陸の東方に突出せる半島であるため其の所產鳥類は大陸的で滿洲や支那によく似て居る。此の點は內地の島國的であつて特產種の多いのとは大分趣を異にして居る。夫れで今日迄に〔如何〕位の鳥の種類があるかと云ふと從來トリストラム、タクザノウスキー、カムベル、クラアク、ジョイ、飯塚、黑田、鷹司等の諸氏の採集調査によつて三百四十內外とせられて居つたのである。夫が此の森黑田長禮氏渡鮮され李王職博物館や京城高等普通學校の標本に由り調査せられた結果

◇二十餘種の未發見 の鳥が檢定せられ今日では三百三十種內外と云はれる樣になつた內地の鳥の種類數（臺灣樺太を除く）は五百十種內外と云はれて居る。夫れであるから種類數から云ふと內地の方が可成り多い樣であるが種族の盛んになつた位か次第に繁殖の少い朝鮮や西比利亞の方へ押し延びて了ひ飯島博士の所謂「日本の鳥類全滅せんとす」と云ふ狀態に瀕しつゝある。即ち鵠や白鷺や朱鷺の如き美しき鳥は

◇或は去り或は滅び 或は漸しく減じて一小局部のみより居らないと云ふ樣に鳥の沙漠たらんとして居る。然るに朝鮮では雁、鴨、雉の樣なものは勿論前記の如きものもまだ〳〵各處に群をなして居るのも見られるし殊に斧や鉈の入らぬ深山に赴くと內地では見た事もない樣な美しいテウセンヤマガラ、ヤマガラ、ヤマゲラ、ウソ、キヤヤカシラの類が飛來し鳴囀り所謂

◇禽鳥語千日閑の 趣があつて鳥の樂園地になつた感がある然しかゝる樂園地も近來鐵砲を以てドン〳〵追ひまくる間にいつの間にか內地の樣になりはせまいかと飯島博士では心配せらるゝ次第である。結局朝鮮では狩獵區設定と云ふ事が必要に成つて來た右の樣に朝鮮の鳥は豐富であるし內地にては容易に見られない珍鳥も容易に見られる。今左に其の中の極く珍稀なるものに就て少しづゝ述べん

◇朝鮮の鶴 鶴は動物學上涉禽類に屬して居る鳥の中でも大形の部類で頸及び脚が大變長い。形狀高雅羽毛美麗であるから古來內地に於ても朝鮮に於ても靈禽として之を詩歌に詠じ繪畫に描き又苑囿に養ひ他の禽族に勝つて賞翫して居る。鶴は通常沼澤平野若くは海濱に群棲し長い脚を利用して淺瀨を涉り又長い嘴を用て泥土水中を採り魚蟲類水草穀粒等を食として居る。故に農業上から云ふと利害相殺すと云つてよい唯丹頂眞那鶴等は種屬の絕滅を惡む點から保護鳥となつて居る。

◇巢は地上に 藁小枝水草などを集めて粗大扁平なるものを作る俗に鶴が樹上に巢を作ると云ふは鸛と誤つたのである。內地兵庫縣出石郡の松樹に鶴が巢籠りしたと云つたのも矢張鸛を誤つたのである。朝鮮ではまだ鶴の巢を見付たものは無い樣である。四五月の候に今日一つ明日一つと云ふ樣に都合一產に二個の卵を產む予が佐賀縣鹿島の祐德神社に飼れてある鶴に就て見たときも一產二個であつた。鶴の啄聲の高亮なるは人のよく知る所で毛詩にも鶴九皐に鳴いて聲天に聞ゆとある。これ鶴の氣管長くして胸骨の龍骨中に卷旋し渦巻狀をして居るからである、世界に產する鶴の種類は僅かに十九種類より外にない。而して其の大部分は亞細亞でしかも其の

◇本部は朝鮮 及び東部西比利亞だと云はれて居る。其の朝鮮にて今日確實に棲む種類は丹頂、眞那鶴、鍋鶴、鼠鶴、尾黑鶴の五種である、其の外に袖黑鶴姉羽鶴が棲むと云ふ人があるけれど未だ採集せられたと云ふ記錄がない、前記の五種は何れも本校に於て採集し標本として具へつけられてある（京城高等普通學校森爲三氏寄）

畜犬を繫留せぬと罰せらる

本町署の狩立開始＝五十餘頭捕獲

狂犬撲滅の豫備策として畜犬の繫留に就きて過般來畜犬飼養者に對し警察官憲より實行方を示達する所ありしが尙繫留せざる向きありて

▼畜犬の徘徊 するものあり本町警察署にては六月二日より毎日引續き繫留なき畜犬の狩立に著手し毎日三十名許りの人夫を派して捜索中なるが二日は頸輪なきもの無鑑札のもの、飼主の氏名記入なきもの等にて徘徊中なりし犬約四十頭を捕へて警察署構內に引揚げたり

▼中には飼主 あるもの大分あり畜主らしき人々が警察署の窓口に集まり犬を渡して下さいと願出づるもの多く、早速取締規則に依り處罰さるゝ向きもある、散々お小言を頂いて犬諸共に引下りたるものもありたり

▼翌三日にも 十數頭の犬が狩り集められたるが一般畜主は目下畜犬に口輪を箝むるか又は繫留を怠らざること肝要なるべし

♣はつ夏 ―光化門通りにて―

攝津尼ケ崎に疑似ペスト

攝津尼ケ崎河本萬太郎（三四）は三日死亡せるが疑似ペストの疑あり（大阪特電）

◉熊ケ谷來る 東京相撲協會檢査役熊ケ谷は巡業日取り打合せの爲め四日朝高麗丸にて釜山に上陸せり（釜山特電）

◉範多氏逝く 範多商會並に大阪鐵工所の創始者エドワード、ハンター氏は三日死去せり享年七十五歲日本化したる人にて鉅萬の富を擁せり葬儀は五日神戸にて執行す可し（大阪特電）

小火 三日午前二時五十分頃京城蓬萊町三丁目一二一林俊明方より發火、藁屋根少許を燒きて間もなく消防隊が消止む損害輕微

◉各倶樂部聯合 撞球大會

優等五勝者二名を出し 鮮銀倶樂部大勝を博す

撞球界の巨人友石武男君の入京を機として京城各官衙、銀行會社、教育會各倶樂部聯合の春季撞球大會は友石君審判の下に三日午前九時から大正倶樂部に開催された、當日出場の倶樂部は鐵道、鮮銀、東拓、會洞、教育、優城、大正（甲乙二組）で左記各五名宛の代表的選手が出し競技權利を五回と定めその〔illegible〕を二位として競技を開始した、參加選手は井田（二五〇）濱田（二〇〇）〔illegible〕

◇全勝者 〔illegible〕

◇各選手 の意氣は高潮し、參加の〔illegible〕

◇五勝し その決選の結果〔illegible〕

◇入選し て拍手喝采の裡に〔illegible〕

蘭共同販賣 廣告 京畿道管內產繭ノ共同販賣ヲ行フニ付入札參加希望ノ者ハ入札人心得ニ依リ豫メ本道ノ承認ヲ受ケラルヘシ

讀者文藝（一等に五十錢〔illegible〕）

△節めそ

〇瓢簞と扇子（一等） 京城花園町 鈴木子太郎

△佳作 滿洲田中生、京城〔illegible〕

△次回題 上圖の通り

◉來賓こ して〔illegible〕

公認推薦廣告（六月二日委員會の決議に依り廣告）

龍山選出學校組合議員として最適任者として公認推薦致候に付御贊成御投票被成下度候

大和與次郎君

龍山公認候補選定委員會

商況

東京公債直取引（特電） 〔illegible〕

深川在米特 〔illegible〕

東京期米特電 〔illegible〕

大阪株式 〔illegible〕

大阪三品特電 〔illegible〕

大阪期米特電 〔illegible〕

下關期米特電 〔illegible〕

雜報

◉綿絲布强硬 〔illegible〕

◉滿洲大豆高下 〔illegible〕

騰貴前々日に比へて各二十四五錢方 〔illegible〕

◉特定運賃撤廢 〔illegible〕

九月限値上

◉綿絲粗布賣止め 〔illegible〕

外の下値 約十二圓內 〔illegible〕

綿絲粗布共に賣止め 〔illegible〕

圓の値上げ發表 粗布は七八 〔illegible〕

◉延安正米亂調 〔illegible〕

◉櫻鰕輸出好況 〔illegible〕

現今は八圓五十錢 見當に奪合 〔illegible〕

◉鹽鯖は下落 〔illegible〕

三錢五厘 〔illegible〕

◉精米持合ひ 〔illegible〕

一段不味 釜山物 賣行き鈍狀 〔illegible〕

下關相場 〔illegible〕

確實（定期米 現物賣買 案內） 仁川海岸町 取引所仲買人

迅速 廣澤正次郎 〔illegible〕

京城正米 〔illegible〕

南大門の廻穀 〔illegible〕

利 森仲買店 仁川本町三丁目 米豆取引所仲買人 〔illegible〕

生魚市場 〔illegible〕

釜山水產市場（三日） 〔illegible〕

仁川期米

四日前場（依然亂高下）

阪天候晴天 〔illegible〕

十五錢高に寄付 〔illegible〕

錢と大暴落 〔illegible〕

十一錢と更に大暴落 〔illegible〕

臨時入電 〔illegible〕

錢と跳返 〔illegible〕

物更に無く遂に十九圓八十一錢と大暴落 〔illegible〕

日 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 電話 〔illegible〕

▲波瀾益大なり 〔illegible〕

此天候晴れ將た雨 氣の動搖益激 〔illegible〕

市場零聞

▲新高値暴落 〔illegible〕

値三十錢を上廻り四十五錢と新高値に沸騰 〔illegible〕

六十四錢切の大暴落 〔illegible〕

十一錢と高値より實に 門を打破し十九圓八十錢 〔illegible〕

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 大五仲買店 電話 〔illegible〕

仁川米豆取引所

四日の八月限

前場	平均値段
寄付	二十〔illegible〕
止め	〔illegible〕
高値	〔illegible〕
安値	〔illegible〕
出來	〔illegible〕

賣買取組高 一萬一千石

偽電で二百圓 〔illegible〕

川眺に重石鐵あり之れを買收せよと勸め現金あれば直ちに打電するに依り資金を送附し呉れと契約し同月十〔illegible〕認めたる偽電報を打ちたるに直ちに入木より二百圓の送金ありたるより之れを受取りて逃亡したるも此程〔illegible〕

壹岐丸 〔illegible〕

等客 〔illegible〕

課題及募集規定 〔illegible〕

募集規程 同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は住所氏名明記の事 〔illegible〕

天氣 くもり 〔illegible〕

…郎方の庭人八木得多と乘合はせたる…止宿中なる八木に對し「今金二百圓送れ品物は今日出す」との意味を…其の際菊太郎は八木に對し忠北鐵…

●連絡船上陸客 六月三日午前八時三十分釜山入港さくら丸 一二…

六月三日午後九時四十五分釜山入港…

●麵麭が澤山 食べられない
米國の小麥は十三年振りの不作

戰爭を始めると食糧の不足を告げるのは定つた事だが、米國で此頃又もや小麥の供給難を報じて居る米國が

▽小麥の産地 として有名なのは云ふ迄もないが本年は十三年振の飢饉年だと云ふ、夫で到底外國へ輸出する丈けの收穫がなく僅かに國內のパン製造に充てるしかあるまいとの事である、此冬の小麥の收穫は二億六千六百萬ブッシエル（一ブッシエルは二斗一合六勺で）

▽此十三年間 最も少い收穫だ、又此春七月迄の製産額は總額は六億千六百萬ブッシエルなのだが、普通米國內の消費額丈けでも二億五千萬ブッシエルで本年の總産額は六億ブッシエル以上に達するのだから驚かされる、而して最近五箇年間平均産額よりも一億二千九百萬ブッシエルも少いのださうな

▽米國が是れ だから其他のアルゼンチンや加奈陀等も少い事は云ふ迄もないが、戰爭以來昨年迄に米國からは此小麥を三億三千二百萬以上も輸出して居るので、日本等も輸出を受けて居る、其處で今や米國では歐洲戰場へ送る爲めには自國では絕對に小麥を食させぬ樣にせねばならぬと唱へ、少くとも麵麭を少く食べる樣にと唱へて居る折故小麥で作られねばならぬ麵麭は一大打擊を被るのは無論で日本等も此影響から又もや麵麭の値上をするかも知れず、今でさへ高いと云はれて居る麵麭が此上高くなつては遣り切れぬと早くも心配してゐる向もあるやうだが、何しろ歐洲戰場で

▽莫大に消費 されるのだから致し方もないが米國では小麥の不作から麵麭の品質を惡くされたら健康に關する事が多大だと云ふので目下頭痛鉢卷の體だと云ふ（大阪）

●秘密の鍵は誰が握つてゐる
＝鄉里に遺書を送つて＝ 自殺した少女

和歌山縣那賀郡粉河町宇田丞い長女宇田兒三（一七）が國境會寧南門通り京屋分店事中村萬吉方に於て主人の無情を恨みてあたら十七の春を一期とし縊死を遂げたるは既報の如くなるが其事實を聞くに兒三は幼少の頃に父を亡ひ家には一人の母あり家計豐ならざりし爲小學校卒業後は家事の手傳を爲し居りしに昨年三月上旬

▲同人の叔母 に當る會寧北新地に飲食店を營む宇田こしめ（四四）が鄉里に歸りたる際女なればお多福でも金になる朝鮮の事とて兒三を種々なる甘言を以て誘ひ且つ兒三の家に二百圓位の借財あるも之が返濟の見込みなく其代償として兒三を伴ひ行く事に極め母の承諾を得會寧に連れ來り酌婦として出さんとせしも兒三の之に應ぜざるより何をかして自己の收物にせんと畫策中南門外に味噌醬油等を商へる前記中村萬吉なる者は朝鮮人の兄弟にして頻りに內地人の女を妻にせんと探し居る者に世話する人あるを奇貨とし

▲種々話の末 二百圓と云ふ現金を出さしめて同人に嫁せしめたるは昨年十一月頃なりしが夫婦の仲は人も羨む程に睦しかりしと云ふ然るに兒三は本月四日頃突然病氣なりと稱して臥床し醫師の診斷を受けたるに同月六日急に死亡したるより屍體は茶毘に附し埋葬したるに一兩日を經て兒三の死に就き種々なる風評起り或は自殺なりと稱して巷說紛々たる矢先き親元より屍體

▲送附方要求 し來るなど不審の點多きより一般其死を怪しみ居たるも何樣屍體は既に火葬に附したる後なれば死人に口なしで叔母こしめ及主人萬吉等は之れが絕對秘密に附し去られしが其後兒三が死亡したる際鄉里の母に宛て郵送したる遺書發表されければ今迄秘密の裡に葬られありし兒三の死因が世間に知らるゝに至りしものにて同遺書に依りて詳細なりし兒三の死は自殺なりし事一點疑ふ餘地なく只發表を抑へたりと云ひ又は縊死なりと云ひ未だ判明せざるも兒三が死を決したるに就ては頗る複雜なる

▲情の纏綿 し居るもの〻如く或は最近夫婦仲睦じからず時々萬吉より非常なる折檻を加へられたりとか又は金錢の爲めには何物をも犧牲とする冷血鬼の如き叔母こしめの兒三を再び他に轉賣し金子をせしめんとの意中を探知したるに因るとか種々なる取沙汰せられあり尙ほ此事件に就ては憲兵分隊に於て既に捜索の步を進め居れり又た兒三の主治醫たる外山醫師は兒三の死に心臟痲痺の診斷書を與へ居れりと（淸津）

●慶北麥作豫想
昨年より二分七厘の增收

慶尙北道本年度に於ける麥作狀況を聞くに秋蒔麥は多少の寒害を蒙り春蒔麥は發芽後稍低溫なりし爲め成育を妨げられたる傾きありしも其後氣溫の昇騰するに伴れ漸次作柄を見直し五月に入りて以來雨量殊更に少なかりし爲め高燥なる畑地に蒔付られたる麥は枯死に瀕したるものもありしが同月末に於ける降雨は僅かに一寸內外の土壤を濕ほすに過ぎざりしと雖も之れが爲め一般に麥の生氣を挽回せしめたる事尠しとせずされば本年の麥作は昨年に比し二分七厘の增收即ち大麥八十九萬二千九百二十二石小麥十四萬一千九百八十八石の收穫高を豫想されつゝあり而して大正五年六月一日に於ける麥作は前年に比し一割餘の增收を見込み居たるに其後霖雨久しきに亘りし結果麥の腐朽及び流失等の被害甚しく實收は遂に前年より約一割の減收となりたるが本年は目下前記の如く昨年の實收高に比し二分七厘方の增收を豫想されつゝあるを以て今後天候適順に推移せんか先づ平年作の收穫は疑ひなかるべしと（大邱）

●露國文字の字形を變更せん

文部大臣は命令を發し次の學年度より露國文字の字形を簡單にせしむる事となれり（露都電報）

●鯖漁の大當り
毎日卅萬尾の漁獲

慶北迎日郡滄州面九龍浦より約半里乃至一里の沖合に去月二十七日突如鯖の大群襲來したるが此の報に接し直ちに慶南方漁津を根據地とせる山神組及び林兼組所屬の漁船十數隻は直ちに九龍浦に回航し來り綿網を下して二十八日に三十萬尾を二十九日にも三十數萬尾といふ稀有の大漁をなしたるが此の向きならば尙ほ向ふ一週間は前記の如き豐漁を繼續する事疑ひなかるべく意外の豐漁とて九龍浦附近は海陸共頗る活氣を以て充たされ居れりと（大邱）

●東洋協會柔道會

東洋協會京城分校柔道部にては三日午後一時半より柔道大會を開きたるが主なる勝負は左の如し

龍○道（戶島　京○監（本吉

○道（山崎　龍道○（松枝

講○研（泰山　講研○（小林

擊武○（松岡　○（中村

京監○（平方　擊○武（野口

講研○（古賀　○武（合志

等にしてそれより五人拔の競技あり初段境久氏は五人を、二段中村四郎氏は七人を拔き右終つて淸水二段渡邊三段の講道館拔の型等あり更に幼年組の高點勝負に移り龍山道場の富作一等に講道館の河原四郎、須古にては講道館の古賀岩總小林辰之助の二君二三等となり靑年組高點勝負河原鐵の三君一二三等となり午後六時卅分閉會したるが却々の盛會也き

●全鮮の傳染病

警務總監部衞生課調査に係る大正五年中に於ける全鮮各傳染病病及び患者並死亡狀況を聞くに虎列拉患者內地人三百八十四人朝鮮人一千六百八十四人內死亡者內地人二百三十八人朝鮮人一千零二人赤痢患者內地人七百六十九人朝鮮人四百十七人內死亡者內地人百六十九人朝鮮人四百人腸チフス患者內地人一千零八十二人朝鮮人一千二百八十二人內死亡者內地人二百十九人朝鮮人二百十八人パラチフス患者內地人百八十二人朝鮮人百八十八人內死亡者內地人十七人朝鮮人二十八人痘瘡患者內地人十四人朝鮮人三十四人內死亡者內地人一人朝鮮人五人發疹チフス患者內地人四人朝鮮人三十一人內死亡者朝鮮人五人ヂフテリア患者內地人百六十八人朝鮮人百四十二人內死亡者內地人三十五人朝鮮人六十三人なりと

辨當のお菜

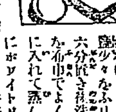
これから暑さに向ひますと小學校や幼稚園に通つて居るお子さん方のお辨當のお菜には餘程注意しなければなりません。卵やお魚の煮たのは輕くつて消化もよく結構ですけれど、

▽直きに腐敗 する恐れがあり、脂肪つこい肉類は消化の上から餘り感心出來ません。よく小學校の生徒が持つて來るお菜を見ますと、煮豆や切り鯣、烏賊の葛煮、紫蘇などが煮魚などの中に交つて七分を占めて居ますが、黑豆や

▽烏賊の葛煮 などは、お辨當のお菜としては殊に感心致しません。かうした品は全く消化し終る迄には、何うしても四時間を要しますから兒童がお晝に食べてあと一時間の遊び時間があるとしても、スッカリと消化されては居ないのです、處へ又午後の課業をつゞけて頭を使はなければなりませんから、なほ更

▽消化作用が 完全に行はれず胃腸をわるくするのであります。夏のお辨當として最も輕く、消化のよいものは「サンドウヰッチ」で、握り飯、或は海苔卷等ですが、握り飯なら中に梅干を入れ、御飯には鹽を交ぜて餘り大きくなく固く結び淸淨な竹の皮などへ包んでもよし、アルミか瀨戶引の淺い

▽御辨當箱へ 入れるのもよろしいでせう。海苔卷の御飯には酢を交せますと腐敗する恐れがありますから、酢の代りに鹽を交せ海苔に一寸お醬油をつけ、玉子燒きか鰹節を心に入れて卷くとようございます。サンドウヰッチには薄い鹽づけのハムを一寸はさむのが最も妙です



▲蒸鯖白ソース サバを普通の切身にし鹽少々をふりかけて五六分置き後洗つて水氣を布巾でよく拭ひ蒸器に入れて蒸します一方にホワイトソースを作ります先づ鍋に中匙一杯のバタを溶かしメリケン粉中匙一杯を入れ杓子で搔き交ぜながらつといためた處へ牛乳七勺を少しづゝ加へてのばし鹽一摘み胡椒少々を加へて味をつけ暫く煮て鍋を下し布巾でしぼり漉すのですホワイトソースが出來ましたら前の魚を蒸器より取り出して皿に盛りさめたところにソースをかけて出しますトマトーをざつと茹で皮をむき適宜に切つて付け合せますと色も綺麗ですし一層の風味を添へます

●駈落取押方依賴

大分縣速見郡石垣村字東山の安光學と云ふ坊さんの長女でしづゑ（二二）は三田尻町地の貸座敷松の家に娼妓稼ぎ中筋の惡い虫に拐され釜山に逃げ込み潜伏し更に姿を見せず、別府溫泉場界屋の抱へ藝妓藤井きく（二三）は山口縣豐浦郡西市村の米穀商松本吉五郎（三五）と云ふ爺さんと去月二十二日の連絡船にて釜山に駈落ちし來り或る處に潜伏中なりとて何れも取押方を釜山署に依賴し來れり（釜山）

自轉車大會の成功
敢て貴社に感謝す 輪人（投）

過般京城日報社主催の下に擧行されたる全鮮自轉車競走大會は頗る盛會の裡に終了せり觀客無慮三萬を集め得たるは近來の成功にして折柄の日曜と天氣の晴快とは時にとりての幸ひなりしと亦全く同社の盡力斡旋の多大なりしを思はしむ、余は其成功が只だに斯の上に止まらず其實の上に於て大なる効果を收め得たるを喜ぶものなり蓋し實上の成功とは何乎即ち自轉車に關する智識の流布此れなり自轉車は文明の利器にして交通機關の補助として社會に缺ぐ可らざるものなり之が乘用は時間を短縮し距離を短縮す故に金を省略す爲めに商賈を增大し用件を辨じ社會の進步發達を促すこと頗る大なり恰かも汽車汽船電車等の効果と異ならず朝鮮の如き公共的交通機關未だ十分ならざる地方に於ては殊に然りとす貴社が此催しを擧行したるも即ち茲にあるべく只單に御祭り騷ぎの趣旨にはあらざるべし此によりて日鮮人殊に鮮人に自轉車乘用の欲求を與へたるは疑ふべくもあらず欲求は研究となりて集りては自轉車熱の振興となり交通上の發達となる現在鮮地の自轉車臺數は決して少しとせず僅に九州に亞ぐ然れども半島全部の人口に比すれば九牛の一毛尙今益々此が振興を計らざる可らず而して自轉車並に部分品の移入を增大せざる可らず又は一面自轉車商工の移住を獎勵せざる可らずかくして供給を豐富にし價格を低廉にし人をして得易からしむること最も肝要なり貴社が此點に着眼し輪業振興の木鐸たらんとするは一般社會の利福を增進するものにして吾人は此種の擧行屢々ならんことを望み併せて輿論を喚起せられんことを望む者なり

演藝案內

櫻井町 大正館
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 電話八七三
五月三十日より特別大興行 ○入場料特に普通
○喜劇ピードラ寺院の瀑布
▲米國カレム會社へ作
○活劇ヘレンの冒險（電信技士の巻）
▲日本一の活動俳優目玉松之助一世一代の女形 ▲お馴染の尾上松之助が一生一代の女形となりお局お豐に扮し…
○舊劇天明五人女 全四巻
…
▲米國キーストン會社傑作
○滑稽大活劇デブ君對アラスカ人 全二卷
▲日活東京派立花貞次郎以下全員出演
▲婦人雜誌連載小說菊地幽芳先生原作
○新派劇お夏文代 全七巻 ▲純活動寫眞劇
…

有樂館
直營 早川演藝部 電話（階上）四九七番（階下）二〇五番
東京小林商會活動寫眞一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約
▲從來發行の招待券は御斷申候
○寫眞長尺に付午後七時半開館
六月一日より公開の三大特撰寫眞
▲大冒險大活劇『第二の牒の覆面』全卅卷
▲舊劇關取千兩幟稻川內の段 全二巻
▲新派劇『結の糸』全四卷
…

御成座
電話一一九一
…

黃金館
電話三六三七 六五二
大正活動寫眞株式會社京城…一手代理店
▲六月二日より八日迄五日間
…

長壽靈品は「ヨーグルト」 京城旭町 荒井牛乳販賣部 電話一〇〇四番 荒井の牛乳 滋養・健康の母は

日本洋瓦株式會社株式賣出

◎驚くべき濠洲南洋の遺利

佛蘭製赤色屋根瓦が其實用向形狀と耐寒排暑の自然的研究は勿論風雨の被害に對し最も安全なる意匠に據つて工藝的に製造せられつゝあるは世界各國の知悉する處也然るに歐洲大戰勃發以來全部其輸出を杜絕したる爲今や濠洲及南洋諸島之需要者は其代製品の發見に苦心憔悴たる時恰も視察研究したる我等が製造輸出を特約したるは我國產輸出の絕好機會にして偶然獲得したる稀有の遺利と言ふべき也

◎二十割の配當絕對可能也

現代濠洲方面の賣價は一枚廿三錢にして今後戰局の如何に係らず當然に本會社企畫の晝夜不休の機械製品は一枚僅かに戰局現時に於て猶且つ製造費三錢餘に過ぎず運賃五錢二厘保險料及經常費其他一枚當り九厘三毛を控除するも優に利益十三錢強にして一千萬枚百十餘萬圓に當り拂込資本に對して實に五十三割の純益となり戰後を目論見書の如く十六錢賣價として二十五割以上の利益を剩し今之を假りに戰前の相場に復歸するも十三四錢を下らず之を僅かに九五厘の豫算するも十一割を株主に配當し得るもの也然かも職後と雖も絕對に十六七錢を下るの懸念なきを以て本會社は必ずや永久に斯の豫定の配當の持續し得らるべき確信あり

大正六年五月

日本洋瓦株式會社

創立委員長 男爵 肝付兼行
顧問 工學博士 古市公威
顧問 工學博士 增田禮作
相談役 大谷嘉兵衛
相談役 星野錫

株式賣出要項

一目的 輸出向屋根瓦製造販賣
一資本金 壹百萬圓（總株貳萬株）
一賣出株數 八百株
一賣出期限 大正六年六月一日より六月十五日迄 但し賣切の節は期間中と雖も締切る事
一提供價格 壹株に付金拾八圓也（拾貳圓五拾錢拂込濟）
一賣出單位 拾株以上
一申込所 東京市日本橋區坂本町十八番地 高田悅三商店
一申込證據金 壹株に付金八圓也
一受渡方法 東京第三銀行當店口座振込 又は直接當店御送金の上は全額壹株に付金拾圓替にて爲替取組御送達の事

◎株式公募の好況

曩に超過金五圓以上にて一般公募せられたる同社株式三千株の成績は締切以前より非常なる盛況にて其結果約三倍強の申込ありプレミアム金七圓以上（第一回拂込五圓金十九圓五十錢）を募入せり之れ會社の前途を囑望さるゝ所以なり茲に於て弊店は豫て同會社の發起人によりり關係上會社の內容質實其充分調査にして將來多大の發展を確認したるにより此際華主本位を以て營業方針とする微意により平素の御愛顧に酬ゆる爲之を推獎し誠實なる取引を以て奉仕せんとする所以なり

追て說明書は御申込次第發送

東京市日本橋區坂本町十八番地
諸公債株式現物問屋
高田悅三商店
電話浪花長四二番・八六番・一八六〇番 電信略號（タ）又は（タカダ）

致富之栞…商報…進呈
大阪堂島米穀取引所仲買人
片山政藏商店
多少に拘はらず御用命の程奉願上候
堂島濱通壹 電話長北六四三 二一〇一 二一〇二

移轉廣告
今般左記の處へ移轉仕候
京城府南大門通二丁目百三十七番地
ヴアキューム、オイル、コンパニー
（電話二四七四番） 松居辰雄

各種萬年筆即時修繕 京城旭町二ノ六（府廳横左入） 東京パイン萬年筆出張所

…告者には五十錢…券を呈す（但…應募者は京城日報編輯局讀者文藝係…何番何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

明君道中記

第百六十六席　田邊南龍口演

名主吉右衛門は素より三十二ヶ村元締庄家、衣食住の三道に不足の無い人である故別に望みといふものもございません、今此狐が強て恩返しをしたいと云ふのを聞いて、其の志は忝ない、俺は子供もあれば金もある其の外田畑山林衣類食物何一つも不自由は無い、然て見れば別に望みの無いものだ、と聞いて女に化けた白狐は前に進み 女『成程身代に御不足はありますまい、然し人として一ツの望みはあるもの、それを叶へて御恩報じをしたいと思ひまする 吉『イヤそれ程お前が云つてくれるなら此の上の望みが無いことも無い 女『それは何でございます 吉『俺は公方様になりたいと思ふが何うだしてくれるか 女『公方様になりたいと御仰やるのか、然て貴下はお何歳で 吉『俺は六十三だ 女『然て見ますと、もう先も短かいので、公方様にはなれません 吉『俺の倅をしてくれ 女『イエ、御子息でもなれません、お孫様を公方様にいたしませう 吉『冗談を云ては叶けない孫なぞは無い 女『今に出來ます 吉『イヤ當にならんことを云ふぞ、孫で宜い出來たら公方様にしてくれ 女『宜しうございますが

然し下賤の身で高位の君にならんといふ恐しき望みを起すものであるから其の前に禍がございますが宜しいか 吉『禍とは 女『先づ第一に貴下の家から火を發して家は全焼になります 吉『成程、其位のことはあるだらう焼ても宜い 女『第二に水難がございまして田地田畑を流してしまひます 吉『ウム 女『第三に悪い病に罹つて御子息が死にます 女『オヤ／＼大變だ然し孫が公方様になればそれで宜い 女『第四に貴下が磔刑に架つて死にます 吉『馱んなさい、俺は磔刑になる様な悪いことは爲ない 女『牢死をいたします 吉『それでも孫が公方様に乾度成れるのか 女『それはお受合いたします 吉『それなら宜い 女『左様なら其の思召しで』と云つたかと思ふと姿は掻き消す様に消失せてしまひました吉右衛門は餘りのことにはつと思つて聲を揚げたが、その聲で眼を覺し四邊を見れば南柯の一夢 吉『何だ馬鹿／＼しい、俗は夢であつたか、然し正しく女が來た様に思はれるが其麼ことは他人に話しも出來ません、其内に翌年七月中旬となりましたが緣の無き物置より發火いたして、ソレ大事よと云ふと家内一面の猛火になつて全焼となつてしまひました、然し普請をするのに差支はございませんから家の普請も出來る、此の歳の十月のこと山水が押して参つて村内は大變な騒ぎ、寺々ではゴーン／＼と鐘を撞く女子供は泣叫ぶ、前代未聞の大騒ぎでございましたが、是が爲に吉右衛門所持の田地田畑は皆水の爲に流してしまひました、吉右衛門は歎息して 吉『火事の爲に家は全焼水の爲に田畑を流してしまつたがソロ／＼禍が來るのかしら、此の次は病難と云つたが豈夫其麼ことはあるまい』と思て居ると翌年の三月大層悪い病が流行出してとう／＼其の病に罹つたが倅の吉太郎は歿してしまひました、今では以前と變つて見る影もなく吉右衛門は零落してしまひましたが、然し平氣な人で何とも思はない、日頃より山獵を好む處から鐵砲を擔いで裏山へ小鳥を射に參りました、向ふに雉子が一羽下りて居たから吉右衛門は喜んで持てる鐵砲取直しズドンと一發射放して物の美事に右の雉子を射止めました、しめたと思つて吉右衛門バラ／＼と其處へ寛來つて彼の雉子を引立て見ると、雉子にはあらで鶴でありましたからハツと驚き四邊を喰しました。

石鹸おろし小うり　吉尾商店　京城本町二丁目　電話二四八四

六月六日九星　舊四月十七日巳卯　本命三碧東開友引

▲三碧● 惡き夢と見るが如き事有る日 新事見合 坤の方は吉 ▲四緑● 爽快なる日 轉居旅行 出 [illegible] ▲五黃● 力身損の事有る日 新事手控 [illegible] ▲六白● 不得要領の事有る日 新事手控 [illegible] ▲七赤● [illegible] ▲八白● 默のあわぬ事有る日 新事手控 ▲九紫● [illegible] ▲一白● [illegible] ▲二黒● 氣の若き事有る日 新事手控 [illegible] 一切のかけ事せぬがよし

ルーデサック　特製品
A十個四十錢　B十個六十錢　形廿五錢　女用一個 ▲月經帶一個七十五錢　廿個以上一割引　郵券代用一割增　要送料　振替京城三二七番
京城黄金町三　山田文殊堂藥房

りん病　ばいどく
本劑は殺菌力強大にして些の副作用なく急性慢性淋病及び各期梅毒性諸疾患に服用し最も安全迅速に治療の目的を達す
一周分　梅毒　特製 金壹圓二十錢　普通 金貳圓
麻病　特製 金貳圓　普通 金壹圓五拾錢
京城永樂町二丁目交番北　京東ドラッグ商會　滿鮮本部

西川のかやとふとん
日本橋印ぬいめなしかや、本濱蚊帳、モスリン友禪、夜具、座蒲團、疊表、花莚　東京日本橋角(通りもき)　近江屋　西川商店　電話本局一一八三　九九四四　八八七　營業の栞御一報次第進呈

ライオン歯磨
齒質の軟かい御婦人の齒の養生には粉末最微のライオン歯磨と完全消毒「萬歳」歯刷子との二つを御使ひなさるが何より宜しう御座います。

本舗　小林富次郎

汽車
南行　北行　[illegible]

京城日報　第三版

六月五日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金二錢五厘一ヶ月金五十五錢郵税一ヶ月金拾五錢郵送に限り前金三ヶ月分金二圓四十六錢六ヶ月分四圓▲郵券代用二割增

廣告料　▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢▲二號活字八字詰壹行金貳圓▲六號活字廿一字詰壹行金壹圓▲三號活字十字詰同上四拾錢

發行兼編輯人　奧田直毅　印刷人　小川三之介

京城太平通一丁目　發行所　合資會社　京城日報社　電話番號（編輯局三四五番・營業部二二一四番・工場三六番・二六六番）振替貯金口座京城三〇〇番

仁川期米

[illegible]に九十七錢と急騰し二十圓の大關門を突破せん勢なりしが大阪四節二十一圓八十二錢と更に安移りに賣物現はれ共に形勢一變八十錢より七十三錢と氣落したるも押目は又買物多く八十錢より返し七十四錢と押し大波瀾裡に七十六錢と歇令[illegible]り後場四節二十一圓八十一錢と入丁の大幅落と報ずるも當地は目を騰ぐに安値に込み來る手口[illegible]くも市場の高値二十圓四十五錢より急落[illegible]十五丁の押目を見せたるも結局六十九丁安に[illegible]したり是必竟買方の勢減し居

▲ビー相場出現乎　此度大天候期に際し仁川獨特のビー相場出現するの時期なるが本年は每報の如く雨以來降雨甚少なく迫り挿秧時期に切近しつゝあるも依然降雨なく雨不足の爲[illegible]

[illegible]

▲内米小賣値段　[illegible]二十三錢一等二十二錢五厘

後場寄　十九圓五十錢　十九圓八十六錢
止　高値　十九圓九十八錢
安値　十九圓五十錢
出來高　三萬七千四百石

米國の出兵程度
十萬に達せしむる計畫

◇計畫漸次擴大　英國政府の發表せる處に據れば米兵は既に英佛軍に從軍しつゝあるものを合して近く佛國戰場に其總數十萬を算すべしと云へり之より先米國政府は對獨交戰を宣布すると同時に陸軍法案を議會に提出して銳意軍備の充實を計りつゝ一方直に若干名より成る衛生隊を組織して之を歐洲戰場に派遣せり同隊は米國の出兵先發隊として既に英國某港より上陸し更に佛國戰場に到著して今や其後方勤務に服しつゝありと信ぜらる其後米國政府は先月上旬に至り工兵九箇聯隊を編成して派遣するの計畫を發表し之れに要する兵員約一萬三千名を鐵道從業員等より徵募しつゝありたるが同月中旬に至り更に之れに加ふるに正規兵一箇師團約二萬五千名の出兵計畫を發表しパーシング少將を派遣軍總司令官に任命して事情の許す限り速かに出發せんことを以てせり米國政府が既に歐洲出兵の意圖を藏せしこと及び米國現在の正規軍中より差當り出兵し得る餘裕の兵力が約一箇師團なる可きことは嚮に傳へられたる通りにて從つて今回出發命令を受けたるパーシング將軍麾下の一箇師團のみは比較的速かに發足し得べく或は工兵九箇聯隊よりも却て早く戰地に到著すべきかとも推せらる

◇米兵と其訓練　何れにするも米國は（一）既に佛國戰場に到著せる若干の衛生隊（二）目下徵募中の工兵九箇聯隊一萬三千名（三）パーシング師團二萬五千名を併せ大略四萬に近き兵員を最も近き將來に出發せしめ若くは現に出發せしめつゝあるが今回英國政府の發表したるが如く果して米國が遠からず是等既然の兵數を併せて遣歐の總兵力を十萬に達せしめんとするものならば米國は今後更に六萬餘の兵力を編成輸送するの計畫を立てざる可からず而かも米國現在の軍備に於て直に出兵し得る兵力は上記の正規兵一箇師團に過ぎず昨年六月末に於て十七萬七千を算したる米國正規兵は昨年の軍備擴張案實施以來漸次增加して最近の調査に據れば二十九萬三千に達せりと發表せられたり然れども右の過去約一年間に增募せられた[illegible]萬六千の兵員が果して既に訓練を了したるものなりや否やは頗る疑問に屬す

◇前途尙は遼遠　即ち米國政府が今後パーシング師團以外更に增派せんと欲すれば其兵員は今日より之れを訓練せざる可からざるに非ずやとも解せらる既に大統領ウキルソン氏が陸軍法案を裁可するに當り義勇師團の編成は正規師團の速成を妨ぐ可きを以て許容すべからずと聲明してルーズヴエルト氏の義勇遠征計畫を認可せざりしが如きに徵するも米國政府が如何に正規軍の訓練に急なるかを察するに足る可く現在米國は其々僅に四百名宛教練し得る狹隘なる練兵場五十四を有するに過ぎざれば最短期三箇月間の基礎敎育を施すに止むるとしても六萬を訓練し了るには約九箇月を要する計算なり今後練兵場の增設擴張等ありとするも米國所期の五十萬宛より成る二大軍團を訓練し了るには少くとも二三箇年を要すべく遣歐の兵力を十萬に達せしむるには尙ほ相應短からざる日子を要すべきかと推せらる

支那商工業の變遷（六）
今關天彭

九、兩晉及び南北朝の商業

晉の統一後、幾程もなく五胡の亂となり、中原の名城巨邑も大抵胡馬の蹂躙に委ねられた。元帝、南のかた揚子江を渡りて都を吳の舊都たる建業に置いて、名を建康と改め、江左に偏安したが、社會上の生計は、工商の盛なるに由つて、やゝ富裕であつた。それから宋、齊、梁、陳と相嗣いだ。

東晉から陳までの市場は、多く淮水以北、即ち今の江蘇淮安府以北に集つて居り、大きな市は百餘所、小さな市は十餘所あつて、大きな市には官司を置いて重税を收め、その爲め商人は甚だ苦しんだやうである。また通過税を取つた。關所の一つは石頭津にあり、一つは方山津にあつて、荻、炭、魚、薪の類の、津を通過するものについて十分一の税を取り、また禁制品を檢査するには、それ〳〵の官吏を置いた。當時奴婢馬牛を賣るに、文券あるものには、錢一萬につき四百を官に納めさせた。賣るものから三百、買ふものから一百を出すのである。文券の賣買は物品の價格によつて、百分の四を收めた、これが散估である。東晉時代に創まり、宋齊梁陳みな之に據つた。

以上は南朝のことであるが、轉つて北朝の有様を見ると、北朝の君主はみな武を以て興つた。後魏の拓跋氏、北齊の高氏、後周の宇文氏等がそれである。さて魏の先業をなした劉聰は洛陽、長安を攻め落し、そのため地方が殘破して、百姓の流離するものが多かつた。續いて後魏の祖たる道武帝が出て殖産事業を興すに暇がなかつた上、北齊、後周と相尋で爭奪を事となし、ます〳〵百姓の流離を見た。北朝の商業の盛ならざる所以は主としてこれが原因をした。されど當時軍國の需用は多く商税から取つたので、この徵收方に關しては往々餘力をのこさぬものがあつた。即ち入市税、店舍税などがその例と見ることが出來る。入市税は後魏の明帝の時、市に入る者には、人ごとに一錢の税を取つた。後周の閔帝はこれを除いたが、宣帝の即位に及んで之を復活させた。店舍税は矢張り明帝の時に有名なる顏之推の議によつて、税を五等に分つて徵收したのである。後魏の盛んな時に、南陲即ち今の廣東で互市場を立て、羽毛齒革類の物貨を交易したが、明帝以後となると衰へて仕舞つた。北齊の貿易は、絹に布とを用ひて、錢の行はれざる事もあつたが、後周には外國の貨幣を用ひ、公然として西域の金銀錢を使つた。要するに北朝の商政は、諸方面に渉つて極めて紛擾して居たやうである。

退職を決せし大總統　黎元洪氏

新任督軍政府大元帥　徐世昌氏

○青島は日本に讓與

伯林のフオシツセ、ツアイツング紙は報じて曰く獨逸は日本に青島を讓與し且或る重要案件に就き協議すべく用意しつゝありと（桑港電報）

○食糧資源調査費可決
大統領に取引所閉鎖權附與

米國元老院は國內の食糧資源の調査、調節を行ふの經費として千百萬弗支出の法律案を可決したり同時に大統領に對し先物の投機賣買を禁止し之に違反する取引所を閉鎖せしむるの權能を附與する事とせり（紐育電報）

○露都勞働者過剩

ペトログラードに於て調査の結果勞働者の過剩なるを發見し之を地方工場に分配移動すべき計畫あり（露都電報）

遊支所感（共）
對日感情
京城銀行頭取　韓相龍氏談

△對支の關係　支那は東洋なり、日本亦た東洋なり。東洋の强國は日本にして現代文明の先進國は帝國なり。東洋の霸者たる日本帝國は東洋の支那に對して指導誘掖に盡し保護監督に努めざる可からざるは其立場より見て素より當然の責務たり從つて日本の一擧一動は直ちに東洋の[illegible]に關す、其の責の大にして[illegible]きこと海に擬りなしと謂ふも可なり、[illegible]家的關係は措て論せずとも東洋の[illegible]者たる我帝國民は支那人に對して[illegible]に親善を念とし一に意思の疏通に[illegible]ざる可からず、物に[illegible]

△個人的親善　今個人間の親善に就き遠慮なき愚見を述べむに、日本人は其の交際に於て言語、態度共相當の尊敬を拂ひ愼重を持す可しつゝ非常に形式を重じ、之が爲めには實益如何を顧みざること珍しからず支那は古來自尊自大の國民にして且つ支那現下の要路者は殆んど外國留學生出身にあらざるは無く其の內實業方面は日本留學生出身を以て占める、狀況なるが彼等は數年前こそ留學の一寒生に過ぎざれ今や大官として嘖々たる名聲を博す、我遊歷者にして彼等に邂逅の際待つに數年前の關係を以てせば彼等は忽ち情誼を遂に親善の機を得る能はざるに至る可し、斯の如きは小問題の如くにして實は然らず、要するに形式は彼等に譲りて實利を收むる心掛大切なり

△百年の大計　總て事を爲すには遠大の主義を持し些々たる眼前の利慾に眩惑することなく須らく百年の大計を計る可し、徹頭徹尾一文の利を遺さず[illegible]掬ひ上げなとするが如きは結局大損の基なり。又た支那に於て事を爲さんとする者は官民共に事物に熟達すること要件として且つ漢學言語に精通し、身柄重々とし、す、支那人は最初頗る頑固なるも之れが同化を見意思の疏通を得ば絕對的服從の精神を生ず、現代に於る日本帝國の地位、智識、富力等を以てせば其の方法如何に依りては有ゆる方面に亙り平和的解決を見ること敢て難事にあらざるや必せり、滿鮮統一論勃興の今日此の點に就きては關係者諸彥の一考を煩はすこと殊に切なり

御注文に依り多少の所感を披陳せしも淺見薄識、其の眞相を觀察すること能はざるのみならず日時の短かきに比し遊歷地廣汎に亙りたることとて說話甚だ綿密を缺き遂に概說に止めたるは申譯なし滿洲方面に關しては他日更に陳述の期ある可く此篇は之を以て一先づ終了す可し（完）

日報詩壇

○春日臥病　内田六圃

遠避紅塵屋近林、只聽庭樹有鳴禽、空○
親藥鼎春三月、形影相憐醉吟。

評日　無限感慨

○春日禪房小集　渡邊凌雪

翠鬱啼處有禪扉、春日長閑物外機、相會騷人齊歛駄、落花如雪散斜暉、

春日經禪和尙山、煙波渺渺大連灣、騷人三五曳杖立、淩水香臺心自閑、

評日　首首寫實況、不用雕繪而佳

文學博士前田慧雲先生題辭　文學博士高楠順次郎先生序文　文學博士澤柳政太郎先生序文　藤本慶祐先生著

平敍日本佛敎

最新刊

日本は佛敎國である。日本國民は佛敎に就いて充分の興味と知識とを持たねばならぬ。由來佛敎に關する著述は專門的で一般の學者に取つて難解の嫌があつた。理に偏して興味を缺ぐの憾があつた。此缺陷を補つて四方八面から平易に、面白く而も正確に佛敎を述べたのが本書である。初に日本佛敎の發達を敍し、後に各宗派に就て特說し、終に基督敎との比較に論及してある。蓋し日本佛敎を知るは釋尊の精神を知る所以であり、日本の國を知る所以である。今や世界の大亂に際し大に國民性を涵養すべき秋に當り、日本文化の根柢を闡明したる此の學界稀有の好著述を得たのは國民の幸福である。佛敎を研究せんとする人、佛敎と日本文明との交渉を知らんとする人、速に本書を讀まれよ

四六判布製函入六百頁　定價壹圓六拾錢　郵税八錢

發行所　東京市麴町區平河町五丁目　振替口座東京二〇一九四　洛陽堂

◇嫁入文庫各編賜台覽◇

第五編出來　共立女子職業講師　山下榮藏先生著

洗濯染色の巻

◇定價一圓◇　送料八錢・書架の大美觀

四六判總布。金文字入函入。新式活字印刷鮮明。三五〇頁

今は洗濯や染物の最好季節です　本書は其の方法を學理と實際から詳しく述べた家庭必備の良書です

近年進歩した家庭では洗張や洗濯は申すに及ばず各種の染色や汚點拔等も主婦自から手を下す際になりました。本書は斯かる進歩的家庭の主婦のために衣類一般の知識と、其保存法、手入法を數へ石鹼や灰汁の種類、藥品の性質其使用法等を詳說し殆ど良師に就き學ぶの感があります。

嫁入文庫總書目

▼育兒の巻（加藤照麿博士）六版
▼裁縫の巻（宮多見さき子）六版
▼禮法の巻（下田歌子）四版
▼料理の巻（赤堀峯吉菊子）四版
▼洗濯染色の巻（山下榮藏）新刊
（以上既刊以下毎月一冊續刊）
▼編物刺繡の巻（吉田とく子）未刊
▼化粧の巻（古宇田醫學士）未刊
▼娛樂の巻（齋藤鹿山）未刊
▼生花の巻（齋藤鹿山）未刊
▼女中使方の巻（加藤常子）未刊
▼婦人衞生の巻（相馬醫學博士）未刊
▼家政の巻（鳩山春子女史）未刊

◇全部十二巻完結●定價各冊一圓送料各冊八錢●但し十二冊全部に直接本社へ前金にて御注文の方に限り十二冊を僅に拾圓に割引し、送料は弊社之を負擔す一切

東京京橋區南紺屋町十二　振替東京三六　實業之日本社發行

柳川春葉先生作　鰭崎英朋畫伯口繪　橋口五葉畫伯裝幀

家庭小說　憂き身

待ちに待たれたる憂き身　後編愈出づ

全部二巻定價各一圓四十錢　送料各八錢　四六判頗る美本

柳川春葉先生の大傑作『憂き身』は全讀者の熱狂的大歡迎の裡に今や其後編を出すに至り。事件の紛糾發展に伴れ、先生の妙筆は愈々高調精緻の域に達し血を湧かし熱涙するを禁じさらしむ可憐なる少年哲雄を圍める數奇なる運命に萬斛同情の熱涙を濺かしむる者は求れ

歡迎愈々旺盛第九十二版

天覽　蘇峰　德富猪一郎著

大正の青年と帝國の前途

上製　總クロース上製天金　函入菊版七百五十頁　定價金貳圓八拾錢　郵税十二錢

並製　四六版七百三十頁　定價金八十錢　郵税八錢

明治大正を通じて天下の人心に多大なる感動を與へ一世の指導となりて國民の元氣を振作し眞個帝國護持の國民讀本たるもの本書の如きは洵に空前と稱す可し

發行所　民友社　東京市京橋區日吉町　振替東京一三二〇　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番

賣捌所　京城日報代理部

支那の形勢

▲黎總統退職 後任は馮副總統か

三日夜黎總統は退職することに決し其の旨各省に通告せり尙總統は後任を馮副總統に托さんと試みつゝあり(北京電)

▲督軍政府內容 近々各國の承認を求めん

天津に於て中華督軍政府の成立を見、徐世昌氏大元帥に任ぜられたり此の新政府は大元帥徐世昌氏の下に四府を設け外交總長に曹汝霖氏を軍事顧問に陸宗輿氏を任じたるが又一說によれば外交總長は陸徵祥氏なりとも傳ふ近日各國に通知して新政府の承認を要求すべし(北京特電)

▲新政府對獨宣戰決定

天津の新政府は獨逸に宣戰する事に決定せるが此の種の行動は聯合國側の歡迎を買ふや否や疑問なり尙北京は全然孤立せるものと認めらる(北京特電)

▲張督軍愈天津に出兵 北京政府大いに備ふ

張奉天督軍は三日各軍隊長の秘密會議を開き其の結果張景惠氏の帥ゆる騎兵第二十七團、先發の混成旅團汲金純氏の帥ゆる一個旅團に對し武裝檢閱を爲し四日京奉線にて天津に派兵する事となれり右軍事會議には吉林、黑龍兩督軍よりも同一行動を採るべく打合せの爲め代表者を派遣參加せしめたり猶奉天省の天津出兵に對して北京政府は山海關の二十師より一個旅團を新民屯に派遣し對抗せしむべしとの說あり猶渴第二八師長も愈々態度を決せり(大連特電)

▲終に調停の見込なし

天津に在りて奔走中なる張勳は調停の見込立たず黎總統に對し俄かに上京せずとの電報を送り來れり(北京電報)

▲進步黨派議員辭職

進步派衆議院議員八十名辭職し國會は事實上停會同樣となれり(北京特電)

▲馮、張兩氏提携鞏固

三日奉天に來る筈の馮麟閣氏は代理を派遣せるが蓋し馮氏の來奉せざるは張督軍に面會するを面目なく思ひしものなるべくされど此の兩人間の提携は益々鞏固なり(奉天特電)

▲張勳氏入京拒絕

張勳氏は入京を拒絕したるが理由は道途困難なるが爲なりと(北京特電)

▲倪嗣冲軍北上不明

倪督軍の軍隊を搭載せる三十輛より成れる列車二日午後七時濟南府を通過し黃河涯に止まりたるが更に北上するや否や不明なり(北京特電)

四鄭線開通影響 水運業者の打擊

滿鐵道と同[illegible]の者とすれば高梁百斤は支那錢約二角七分に當る而して民[illegible]が船賃低[illegible]を以て陸運との對抗を圖るも不可能となり或は此間の船運は[illegible]し水運は四角八分(民國五年度の平均價格にて一切費用を含む)水運は[illegible]率となると[illegible]て過高な[illegible]運との競爭上決し[illegible]ざる事情あれば結局[illegible]大打擊を受くるや必[illegible]

▲第士民黨員續々逃亡

北京の形勢刻々危殆に瀕し來り總統府の第士民黨員の大部は北京より續々逃亡せり(北京電報)

◎外交調查問題御諮詢 山公、內大臣等奉答す

山縣元帥は御召に依り四日午前十一時十分西園寺侯爵は同十時十五分松方內大臣は同十時三十分參內同十時五十分打揃ひ御座所に於て天皇陛下に拜謁仰せ付けられ天機奉伺の後今回の外交調查機關設置其他重要事項の御諮詢に對し奉答する所あり各元老は御前退下の後別室にて寺內首相と會談する所ありたり(東京特電)

◎鮮滿鐵道統一 佃滿鐵理事談

佃滿鐵理事は四日商船嘉義丸にて門司著直に東上せるが氏の談に曰く『鮮滿鐵道統一は出來得可くんば好都合なり而して彼の三線聯絡の結果滿鐵の貨車四百車を鮮鐵に貸與せるも鮮鐵線路は勾配多く一列車の牽引力は滿鐵の半に過ぎず常に貨物停滯勝ちなるを以て鮮滿鐵道を統一せんとせば先づ鮮鐵の線路改良を必要とす』云々(門司特電)

◎前田氏安東發

貴族院議院前田正名氏は四日午後五時十五分安東著同六時三十分發歸東の途に就けり(安東特電)

◎李王御旅館變更

李王殿下下關に於ける御旅館は山陽ホテルに御內定のところ御都合に依り春帆樓に御變更相成りたり(門司特電)

◎五年度桑田調 前年より面積二割一分增

大正五年十二月末現在調査に係る桑田は桑樹のみ栽植せる段別五千三百九十六町六段他作物の間又は畦畔等栽培せる桑樹の見積り段別一萬八十一町九段歩合計一萬五千四百七十八町五段歩にして前年に比し二千六百四十五町三段歩即ち二割一分を增加せり今之を地方別に就て見るに總段別の最も多きは忠淸南道の二千三百十五町歩にして慶北の二千百三十七町歩平北の一千六百七十四町歩京畿道の一千五百町歩平南の一千二百七十三町歩全南及び江原道の一千餘町歩之に順次し其の最も少きは咸北の二百三十九町歩なりとす

▲又新設段別の最多きは平北の四百廿九餘町歩にして全南全北平南及び慶南の三百餘町歩江原黃海全北に百餘町歩之に順次し其最も少きは忠南咸北の約五十町歩とす、而して前年に對する增加段別の割合は平北の三割七分を最多とし咸南の三割六分全南全北平南及び咸北の三割餘慶南及び黃海の二割餘順次相亞ぎ忠南の三分を最少とす、從來養蠶家は在來桑の外山桑も利用し優良桑を栽培する者少かりしも近時養蠶の發達に伴ひ優良桑の必要を感知し官署の配付桑苗のみを以て足りとせず私費を投じて之を育成し又は購入する者益多きを加へ大正五年の優良桑樹栽培面積は叙上の如き增加を見るに至れり然れども是等の桑樹は栽植後日尙淺きと栽培方法其宜しきを得ざるものあるとに依り未だ

▲豫期の桑葉を收穫するに至らず大正五年に於ては既設桑田段別一萬二千六百五十七町歩の外三千三百町歩の山桑を利用し漸く輛七萬一千九百二十一石即ち段當約四斗五升を得たるの狀況なり向後一層優良桑樹の增殖に努むるは勿論既設桑樹の肥培管理を懇にし以て收桑量の增加を圖らざる可からず今桑田段別累年比較を示せば左の如し

▲桑田段別累年比較

年次	段別 町	見積段別 町	計 町
四十三年	八九一、六	二、四四三、九	三、三三四、五
四十四年	九四八、八	二、九八二、三	三、九三一、一
大正元年	一、三三七、三	三、九九九、一	五、三三六、四
大正二年	二、一六七、三	五、一四四、三	七、四八一、五
同三年	二、九六八、三	七、三一八、〇	一〇、二四六、三
同四年	四、〇四九、五	八、七八三、七	一二、八三三、三
同五年	五、三九六、六	一〇、〇八一、九	一五、四七八、五

◎元山築港進捗 昨今の工程

工事總豫算百五十六萬圓を以て大正四年度以降大正八年度に至る五箇年間の繼續事業とし四年七月起工せる元山港海陸聯絡工事は專任技師池邊稻生氏監督下に爾來著々進捗を見つゝあり該工事は港內の海面約二萬七千坪を埋築し其前面には百五十間の繫船岸壁を中央として左右に物揚場石垣の長延長二百七十間を築設し埋築地上には道路並に鐵道線路を敷設して船車の聯絡を便ならしめ尙東北の風波を遮斷して內港を靜穩ならしむる爲め灣內の長德島より在來の防波堤に向ひ延長二百二十五間餘の防波堤を築造し更に堤內の錨地を浚渫し在來突堤棧橋の改築を施行する計畫なるが大正四年度に於ては埋立工事物揚基礎捨石工事の一部を施行したる外專ら工場の設備其他諸般の準備を整へ大正五年度に於ては埋立工事並に岸壁工事、防波堤工事、浚渫工事等の各一部工事に著手し其の出來高は三歩一厘强なり今各工事の概況を紹介せんに

▲埋築工事 埋築は舊赤田川尻附近より海岸通突堤に到る一帶の海面約二萬七千坪を干潮面上七尺餘に埋築するものにして此土量は約四萬立坪を要す而して埋築用土砂は一部を附近山地及び新赤田川尻より搬出し一部を浚渫土砂を充用する計畫にして大正四年九月西端の埋築に著手し現下の出來高現況二歩八厘なり

▲物揚場工事 埋築地の前面中央繫船岸壁の兩端に接續し北側に延長百十間南側に延長百六十間の物揚場石垣を築造するものにして大正四年度に於ては北側百十間の基礎捨石を完了せり又現出來高二步六厘なり更に本年度よりは南側の基礎捨石工事に著手し大正七年度乃至八年度に各上部石垣の築造を完了する豫定なり

▲岸壁工事 岸壁工事は埋築地に於ける前面中央部に延長百五十間の繫船岸壁を築造し三千噸級の船舶二隻を上下二段に繫留する由なるが大正五年十一月以後に於て下部函塊四個の据付を了し約一步の出來高を示せり而して本年度に於ては更に下部函塊十四個上部函塊十六個計三十個を製造し大正八年度迄に全部を完了する豫定なり

▲防波堤工事 該工事は灣內長德島より西方に向ひ延長二百二十五間の防波堤を築造し其先端は在來突堤先端に對し五十間の水路を置き他の捨石基礎工事を構成せる上部に幅員十五尺の混凝土堤を築設する計畫なり該工事は大正五年三月起工し基礎工事に對しては約一步八厘の竣成を見居れり基礎捨石工事は大正七年度より上部提體工事は本年度に終了の見込なり

▲浚渫工事 は岩壁前面及び長德島東部淺所に於て總土量八萬千餘百立坪を浚渫する計畫にして水深二十一尺乃至廿四尺の錨地面積十二萬坪を得る傍ら其浚渫土砂は埋築下部に利用するものなるが大正五年七月以來鋼鐵製式浚渫船金剛丸及びプリストマン式浚渫機を併用し岸壁前面一萬五千餘坪を浚渫せり此出來高約一步八厘を示せり

▲道路工事 埋築地に於ける縱橫の街路及び現在商業地區との聯絡道路を築造するものにて元居留地界線に沿ひ平元道路交叉點に到る聯絡道路幅十間延長三百六十七間五分は大正五年九月改修工事に著手し大正五年三月を以て完成せり又▲埋築地上の道路は大正八年度著手する筈なり

▲鐵道工事 岸壁及び物揚場石垣の背部埋築地に元山停車場に連絡する引込線路を敷設の計畫にして大正八年度に於て之を著手の豫定也

▲棧橋工事 在來突堤棧橋を木造長さ五十間幅六間に改造し沿岸航路小型船の繫留に便ならしむるものなるが該工事は大正八年度を以て著手する見込なり(元山)

◎特別機關設置由來

既報の如く今回軍國機務の御諮詢に與るべき最高特別機關設置せられ近々勅令を以て其の官制を發布せらるべきが右は總裁及び委員を以て組織し總裁は總理大臣を以て之に當て委員は略ぼ十名にて內閣側よりは首相、外相、陸相、海相及內相若くは藏相之に加はり更に三黨首領及び樞密院側代表者一名貴族院側代表者一名を加ふる事となるべく而して政府は夙に首相が此事に就き三黨首に對して詳細懇談諮議せる際其贊否を保留して退出せる加藤憲政會總裁が參加を拒否すとしても別に再び加藤總裁の熟考を求むるの擧に出でず速かに公布實施すべく尙ほ世上今回の特別機關設置を目して或は現內閣が支那問題に關聯して對議會策の一たらしめ一面擧國一致反對の責任を憲政會に歸せしむるにありと稱し又は犬養氏の行詰れる政治的立場を救濟するの目的に出でたりと謂ふも最近世界戰亂の歸結測る可らざるに際し露國の政變に次で支那の變亂あり此の危局に際して對獨國是を策定するは一黨一派の能くする所に非ず所謂擧國一致以て軍國の大事に照應せざる可らずとは寺內首相就任以來の抱懷なるを以て終に今回發表を見たるものなり又或は此の機關の設置を以て內閣以外の內閣を設くるものとし憲法上の疑義を挾むが如きものあるも這は素より與國の大機に關して國論の協定を圖るの意に出でたる純然たる諮詢機關なれば其の決議に依る採否の權は內閣之れを有し又其の國策の遂行は內閣之に當りて其の責任は勿論內閣に於て之を任ずべきものにして是に由りて內閣の責任を轉嫁するが如き事あるべからず(東京特電)

◎間島鮮人視察團効果

五月十日間島龍井村出發十七日入京し京城地方の視察を爲せる間島鮮人視察團七十二名一行は六月二日午後無事歸著せるが一行は何れも今回の視察に際し長谷川總督始め一般の歡待を蒙りて感激の至りに堪へず尙鮮地に於ける一視同仁の施政を見て吾人は益々帝國臣民たるの義務を果さ

◎奉天支那紙幣

最近の發表によれば奉天に於ける支[illegible]

交通銀行 [illegible]
殖邊銀行 [illegible]
黑龍江官銀號 [illegible]
合計 [illegible]

[illegible]財政部は東三省當局と協議し鑛業銀行を設立して[illegible]の開拓を圖る[illegible]より北京[illegible]るより同地某巨商は資本百萬[illegible]水道會社設立を計畫し目下各方面に運動しつゝありと云ふ

◎秋山司令官巡閱

目下水原地方に於て施行中なる第十九師團幹部演習參觀の爲め出張中なる軍司令官秋山大將は來る七日赴任更に十日午前八時四十分龍山發列車にて松井參謀古城副官入道主計正有動軍醫等を隨へ大田水原公州全州光州等南鮮各部隊を巡閱し十八日午後八時五十分著列車にて歸任すべしと

◎藤田總監歡迎會

朝鮮醫學大會臨席の爲め入京せる藤田軍醫總監歡迎會は四日午後七時朝鮮ホテルに於て開催されたり

◎岡本四元兩氏東上

北鮮日報社長岡本常次郎氏並に津の有力者四元嘉平次の兩氏は吉會鐵道速成の件にて東上の途中入京し六日夜南大門驛を出發すべしと

人事消息

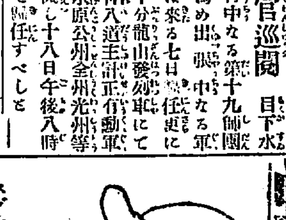
▲石黑權左衞門氏(實業家) 四日夜退京
▲奧田龜三氏(代議士) 同上
▲杉野茂吉氏(三井物產社員) 四日夜入京浦尾へ
▲橫井滿五郞氏(橫井組支店代表者) 同上

ロロロ 陸言北語

▲張勳老は天津に來まつて北京へは行かぬらしい▲と云ふのは何うも乃公でも調停が出來ぬと云ふのが入京拒絕の口實だと▲近頃天津の形勢と云ふのが頗る以て物騷千萬▲倪嗣冲君は手兵二千人を提げて既に天津に到著し▲張作霖君も部下の一混成旅團を天津に派遣するとの事▲中央政府では此奉天軍を山海關で喰ひ留めやうといつて居るとか風雲頗る面白からざる處へもつて來て▲在天津の督軍連は會議の結果督軍團を組織し其の軍團に屬する軍隊の指揮權を張勳老に委任する▲即ち張勳老は督軍團軍隊の總司令官になる譯だ斯う云ふ事は老人大喜びだらう▲其の上に督軍團は徐世昌老を押し樹て大元帥とし軍政府を組織すると云ふ其處へ南方民黨の計畫して居る南北分裂が現はれやうものなら愈々以て大事だ▲猶ほ其の上に議會は斷然開會を續け死守して軍閥に當ると云ふ次第▲して見ると督軍を後援とする天津の軍政府對議會を後楯とする中央政府葛藤となつて喧嘩は次第々々に大きくなつて來た此の時に當つて南方民黨の督軍の行動が聞きたいものだ▲支那の時局も最早キッシリ行き詰つたが舞臺が廻るか廻らぬか▲と云ふ處へ以つて來て黎總統は辭職したとかするとか云ふ▲總統が辭職したとしても問題は唯に紛糾する許りだらう▲何となれば徐世昌老の大元帥張勳老の總司令官▲お敗けに餘り共和を喜ばぬ督軍連の多い處は▲妙に例の復辟がチラチラせぬでもないからナア

螺を吹け

滿天下の青年に螺貝吹奏を獎勵す 禪と腹式呼吸と醫藥と[illegible]に非ず『螺吹會々報』を呈す申込あれ
京都市七條局區內 螺吹會



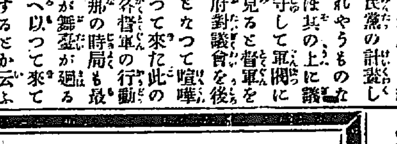
手が物をいふ
契約書を一本書くにしても、證書を書くにしても、履歷書を書くにしても、日常の文際から商業上の取引まで、諸君は毎日筆を持たぬ日がありますか。筆を持つ度に今少し字をウマク書きたいとは思ひませんか。現代は手が物を云ふ時代です。文字が下手では自分の信用まで疑れます。本日からスグ稽古をなさい
スグ上手になれる習字速進法の說明書御申込次第進呈
東京神田駿河臺鈴木町十六番地 大日本習字速進會 電話本局三一八五 振替東京二一九〇

文章世界 六月號 定價二十五錢(郵稅二錢)
中村星湖 …論
▲生物と愛(歌)…石坂養平 生方敏郎 小川未明
▲都會と田舍(詩)…北原白秋 萩原朔太郎
小說 お山の精進…岩川行人
冷たい月…岩野泡鳴
▲能所不二…田山花袋
▲春の巴里…吉江孤雁
▲若き享生君の書簡…
▲創作と實驗…中島
▲『意義ある形』とは何ぞや…
▲諷刺家ミルボウ逝く…加藤朝鳥
▲新理想生れんとす…三井甲之
東京本町 博文館

陸地測量部發行五万分一 朝鮮地圖
既刊五百六十枚一枚七錢五厘臨時土地調查局測量の分二色刷迅刊百四十四枚一枚十錢送料五枚迄二錢一切前金のこと照會必返信料を要す
龍山漢江通六番地 小林又七朝鮮出張店 電話五二〇 振替五一〇

地稅令施行規則ニヨル土地ノ異動申告申請等ニ關スル手續 全
朝鮮總督府度支部編纂(日鮮文)
五十七頁 價格九錢 郵稅二錢
土地所有者カ其ノ所有地ヲ分割、合併又ハ地目變換シタルトキ、公共用ニ共シタルトキ、林野等ヲ開墾シタルトキ[illegible]
本書ハ[illegible]
發行所 京城日報社代理部 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 電話六〇番

信用ある東京三金の靴



ボックス革製編上靴 第一號 金三圓五十錢 第二號 金四圓五十錢 第三號 金五圓五十錢 第四號 金六圓五十錢
ボックス革製便化靴 第一號 金三圓五十錢 第二號 金四圓五十錢 第三號 金五圓五十錢 第四號 金六圓五十錢
ボックス革製深ゴム靴 第一號 金四圓五十錢 第二號 金五圓五十錢 第三號 金六圓五十錢 第四號 金七圓五十錢
革見本寸法用紙付目錄送呈
以上の靴は一均一精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般紳士淑女用として好適なる品なり
御注文の節は靴の種類と足袋の文數を御通知あれば代金小包料共引換にて發送可致候
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝六九二番 振替東京七壹參番

簿記 通學生 寄宿生 校外生 募集
大正六年新貸記念優待募集
東京市芝區櫻川町十一番地
私立認可 日本簿記專修學校

係あり或は沿河の運送業者及び人民[illegible]を惹起するに至るべし今四平街鄭家屯間の鐵道運賃比率が南[illegible]に輸送したる貨物は必ず鐵道便に由るに到る可く[illegible]四平街鄭家屯の水運業者[illegible]亦鐵道開通の爲めに大影響を受く可し今鐵道運賃に據りて計算するに兩地間は商業百斤五角なるに對し[illegible]減少し或は最初の一年に於て其半數を減少すべし目下の四鄭線の運賃は陷未定にて或は滿鐵に比し幾分高[illegible]が善後策を[illegible]すべきを[illegible]那當局者は種々之れ[illegible]ありと（奉天）

行名	發行高	準備高
東三省官銀號	[illegible]	[illegible]
奉天興業銀行	[illegible]	[illegible]
中國銀行	[illegible]	[illegible]

[illegible]は甚だ豐富なれ[illegible]拓に要すべき資本[illegible]爲め折角の富源も空しく地下に埋せられ[illegible]

●哈爾賓に水道 哈爾賓には未だ水道の設備なく市民の飲料水は概ね混濁して衞生上憂ふべきものな[illegible]

[illegible]七五四耗▲通行方向東北東▲警戒區域全南道慶尙南道沿岸

●七千町步の大水田が出來る

平北龍川郡に於ける水利事業 新義州の水道敷設＝持地土木局長談

平安南北道各地を視察中なりし持地土木局長は四日午前八時着任したるが途中列車中の談に曰く

今回は平壤龍川郡新義州義州等を視察したるが新義州水道敷設に關する實地踏査及び龍川郡に於ける水利事業の工程を視察したるは其の主なるものであつた新義州水道敷設は數年以來同地在住者の熱心計畫する處であつて近來漸く

▽其の機運熟し具體的の案も成りたるを以て多分大正七年度から着手され二ケ年を以て竣工を告げる事に成るであらうと思はれる、全工費豫算は十五萬圓であつて內七萬五千圓を府の負擔とし殘り七萬五千圓の國庫補助を仰ぎ度いと云ふ事に成つて居る豫算が通過すれば直ちに工事に着手さるゝ事に成つて居る水源を石下驛北方の溪流に取り水源地より新義州市街に達する迄の

▽一里半の間の幹線は木管を用ひ市中の各支線は鐵管を用ひる事に成つて居る但分鐵の騰貴甚だしきを以て第一期の計劃としては各戶給水を爲さず市中十數ケ所の公設給水所を設けて六千七百人の市民に給水する事となつて居る現今朝鮮の主なる各市街には新義州咸興全州を除くの外は最早水道の設置せざる處なきに至つた殊に新義州は

▽水質極めて惡く住民の健康上是非共水道の敷設を必要と爲しつゝあり木管も十五年間位の耐久力あるを以て其の間に於て木管幹線を鐵管に改設すると共に給水も各戶給水に改めらるゝに至るであらう新義州河岸設備も現在以上に擴張するの必要は當分あるまいと思はれる、龍川郡に於ける藤井氏の水利事業は本年

▽八月を以て竣工し七千町步の荒地及び畠地は見渡す限りの水田に化すべく實に大なる成功と云ふべきである古來より該平野に白馬江を導きて灌漑を企てたるもの少からず殊に十數年前郡守吳長端なる人は運河開鑿工事に着手し尠からざる資財を抛つたが其の結果は遂に前人と同樣の失敗を繰り返へしたるに止まりたり之れ等は

▽學理に由る測量を經ずして工を起したる爲め肉眼にて土地の高低を測定すること能はずして幾度も失敗を繰り返したり白馬江より灌漑地までは肉眼にては如何にも平坦なるが如くなれど測量の結果は水路十里の間千百間の隧道が設けられた程であるこの水利事業に就て同地方では一種の

▽面白い迷信を有つて居るそれは今から二十年ばかり前に白山に住んで居た男が有つた其の男の云ふに『これから二十年を經て後に東方より鬼神來り白馬江の水を引き入れて注ぎ荒蕪を變じて良田と爲す』と云つて居つたそこで灌漑地九面の人民は藤井氏を豫言された鬼神であると云つて大いに敬意を表して居るとの事である

大正水利所見 持地東籬

闕歯新成萬頃田、如蛇長堤防波堅、由來大業非人力、神策鬼工萬古傳

♣花賣 四日大平町通りにて

●鳥八チ氏無事

三日午前十時飛行機に搭乘鳴尾を[illegible]青山に向ひしチャンピオン氏は途中ガソリンタンクに故障を生じ突如伊勢四日市に着陸せる事は既電の通りなるが飛機もチ氏も無事なりと（東京電報）

●馬賊と格闘して職に斃る

去月三十一日午後七時四十分蒲洲老虎臺楊白堡中間の露國家屋附近に於て五名の馬賊現れ通行の支那人二名を脅迫中坑外監視小藪仁一郎後より來り賊と格闘し二發の銃創を受け死亡せるが賊嫌疑者四名逮捕されたり（奉天）

●元山に赤痢流行

元山地方には赤痢病流行し二三兩日間に小兒四名の患者を發生せり（元山特電）

●平南順川大火

平南順川郡新倉面倉牛洞飲食店金士俊方より五月二十八日午後十一時頃發火し忽ち八方に延燒し折柄の強風に煽られて火勢猛烈となり新倉消防組三十五名及び村民百五十餘名駈付け消防に努めたるも水利の便なき爲め如何とも手の施す術もなく遂に全燒二十五戶半燒十戶三十八棟を燒き翌午前四時頃鎭火せり被害民百四十名は直ちに附近の親族知己に收容されたるが人命には何等の異狀なく豚五頭を燒死せしめたるに過ぎず損害價格は約三百餘圓に留まりたり原因は金士俊が燒酎製造に當り二十七二十八の兩日に亙り過度に溫突の火を焚きたる結果煙突熱して草屋根に燃え移りたるものなりと

●四日！。京城の市街戰!!!

各候補者の運動愈々活氣立つ

選擧は愈々アト中四日を剩すに過ぎない、時日の切迫は各候補者の運動に愈々馬力を加へた▲三日の日曜など、官吏も自宅にゐるだらうからと云ふ想定より、役人の足並み切崩しにかゝるべく民間候補の官舍訪問も大分あつた、無論市中の混戰は一層猛烈で、そこにもこゝにも運動員らしい風態の人を見かけた▲然し最終の日曜の運動も餘り効果はなかつたらしい、何故と云ふに、市民の大部分は官と云はず民と云はず、本社主催自轉車競走大會の見物に出かけて自宅に暮い一日を送つた者は少ない、實際▲ドコに行つても留守でした、實際京城日報が怨めしくなりましたよとは運動員の僞はらざる告白だ▲目下の烈しい競爭は落選すまいと云ふ希求より寧ろ折角出た以上可成高點で出たいと云ふ點にありはせぬかと云ふ人もある、成程そんな人もあらう、然しそれは民間候補十四名の半數內外ではあるまいか▲それは何れにしても運動が烈しい結果、或方面では金錢若くは物品を贈受し、投票の約束をしつゝあるものありとの說もある▲がこれは眞實と思はれない、唯御馳走政略に出てゐる人は絕無に非ずとの事を耳にする、これなどは警戒ものだらう▲龍山の組合議員候補者豫選會の結果、新龍山からは大和與次郎君、舊龍山からは大村百藏秋山督次の兩氏を出す事となつた▲龍山の有權者が結束すれば民間より三人を出す事は餘り難かしくあるまいが、今日の如く京城迚の切り込みありては多少危くはないか▲三人の中一人には票數も多く纏まらうが、アトの二人は餘程旨く足並を揃ぬと共倒れの惧れを生ずるかも知れない御要心々々▲で結局今日推し立てられ又起つてゐるのが、二十一名落選は三名を出す事になる▲會社銀行團の遠山漢湖農銀支配人推薦說は、色々噂もあるが、五日の火曜各代表者の定例集會でドチラか愈々きまるらしい▲銀行會社の票數は既に四分五裂してゐて今日遠山氏を押し出しても其の全部の纏まりは不可能のやうだ▲但し銀行會社團から一人は出すが好いと云ふ意見も、有力者の間にある▲目下遠山氏を推したてる事になれば其の波動は各方面に及んで、選擧切迫前の一活劇となるが、果してどうか▲官吏の出馬が今回の選擧に多かつた事は色々の影響を各方面に與へて珍談も可なりある▲其內深水清氏對土地調査局などは大分滑稽だ▲何でも熊本縣人會の幹事に調査局在勤の某氏がある▲其某氏は縣人會で深水氏を推し、土地調査の票數は幾十票か必らず纏めると云ふ宣言をした▲で、一日深水氏は調査局に行つてアチコチ頭を下げてゐると、中途に其の運動を止めて吳れと手を擧げて止めた局員がある、その云ふ所によると、實は今日の食堂會議で局內候補推薦の可否並に可とすればその人をきめるのだからと云ふのであつた▲運動差止めを喰つた深水氏は怒られもせず馬鹿々々しい思ひをして退出したさうだ▲そんな事實があるため、深水氏を推した熊本縣人の某氏は調査局の投票が若し分割でもすれば、俺の責任になると大恐縮、又深水氏に對しては冷汗を流してゐるさうな▲曾我勉氏は遞信局の投票を失つたと云つて悲觀してゐるが、明治町の小川勝太郎氏の起たざるため其の方面から可なりの得票もあらうし、結局大丈夫のやうだ▲遠山氏推薦の外もう起つ人はあるまいと云ふ事だが、一人二人怪しい向がないでもない、或は間際になつて一混亂を起すやうな事件發生の絶無は保せられないやうだ

●主人は猩紅熱 飼犬は狂犬病

京城黃金町二丁目居住休職海軍大尉松岡松助氏（四七）方にては去る二月中一人子なる長男克己が猩紅熱に罹り順化院に入院加療の末此程漸く快癒して歸宅したるに此度は父松助氏が五月三十日發病六月二日猩紅熱と診斷されて又も順化院に入院加療中なるが同家にては飼犬も症狀疑はしきより三日獸醫診斷の結果狂犬病と判明して是は即日撲殺せり

●通信社長拘引

大阪三通信社長花垣均は商法違反詐欺として起訴せられ四日拘引せられたり（大阪特電）

●町長收監さる

京都府伏見町長櫻井利三郎氏は選擧違反の廉にて四日拘引收監せられたり（大阪特電）

●僞造證で騙取

京城梨花洞靴工禹鉉（三一）は平南安州三盛洋行朝鮮通信工學會傳習部支部を京城に引き受けたりと稱し同洞洪潤植を其の副支部長に推薦すべしと僞造の契約書を示して四月以降に金百餘圓を捲上げたること發覺して鍾路署に檢擧されたり

♣京城の不良少年（二）

≡子供に惡事を敎唆する厄介な保護者≡

炊事場と玄關を覘ふ賊よりも多いのは屋外の物荒しである、洗濯物や其の他の什器で裏庭などに置いてある金盥、洗面器、空瓶、空叺、空箱のやうなものも彼等の附け目とする所である、以上は竊盜の中でも

▽最も簡單で 而も最も拙劣な行り方である所謂掻つ攫ひ專門の小泥棒である、其れから稍熟達して來ると針金の曲つたものや金釘又は金棒空袋などを携へて塀の外から乾してある衣類や座蒲團を引つ懸けて取つたり、戶を捏ね開けて空巣の家に忍び込むやうになる、是等は稍大膽な仕方である、時には

▽窓口から手 を差入れて竊むものもあるが、總じて用もない鮮童が塵芥箱を掻き廻して拾ひ食ひをやつてゐるのを其儘見逃すのが被害者の拔目となることが多い、其をやつてゐる內に一寸でも隙があれば庁に玄關迄も荒して行くのである、塵箱を漁る鮮童は

▽見附次第に 叱り付けて放逐するが好い、縱令物品を竊まれないにしても腐敗物を食つて赤痢や窒扶斯等の傳染病を發生せしめる危險があるから時節柄決して塵芥箱に手を觸れしめぬことである、彼等は斯うした內に家人の隙を覘つて居るものだと見て差閊へがない、元より一定の住家がないものが多く

▽各町を徘徊 しては拾ひ喰ひをし夜は十字や、軒下、城の下、空家は松林、軒下、裏小路等に豚の如く轉寢をし飢ゆれば拾つて食ふか竊んで食ふといふ仕末で、元より文字も解せぬ殆ど野性的の色彩を帶びた純然たる浮浪者が多く中には父母等の保護者もない全くの獨りボツチのものもあるが其の數が五十餘名程あるといふ事である、但保護者があつても大抵

▽廿日暮しの 勞働者で、親は親、子は子で各自別々の行動を執つてゐるから監督など行屆く筈もなく、時に狡猾な親になると子供を敎唆使嗾して竊盜を働かせる曲者さへある、斯うした名ばかりの保護者のある不良少年は其數が何百名あるか計へ切れぬ、鮮人の居住者が多い本町署管內のみで大正五年中に取扱つた二十歲未滿の者が百十九名あつた、

●京城庭球大會

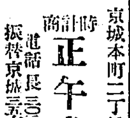
西大門敎育俱樂部主催庭球大會は三日午前八時より開會來會者百餘名午前中俱樂部員の決勝戰あり午後より招待に應じたる京城庭球俱樂部員の現役對豫後備軍の對戰あり現役軍振はず京電の米田組一組を贈したる外副將迄薙ぎ倒され御大鈴木立見組孤軍奮鬪豫後備軍五組を贈したるも及ばず豫後備の優退組、菲子菊田組、出でゝ鈴木組を屠り豫備軍は優退二組を殘して大勝せり

●井上家の慶事

總督府外事課長井上文司氏長男外所氏は赤十字朝鮮本部主事大橋次郎氏夫妻の媒妁にて仁川郵便局長一橋力氏長女みち子さんと婚約整ひ三日京城神社に於て華燭の典を擧げたる後巴城館に披露宴を催し席上井上外事局長の謝辭[illegible]小原農商工部長官の祝辭等あり盛會なりき

購買廣告 一、日本毛織株式會社製絨特製參號 一、五百碼 右納入場所大邱監獄 右購買ス供給希望ノ者ハ本月五日以後ノ朝鮮總督府官報閲覽ノ上六月二十五日午前十時迄ニ入札スヘシ 大正六年六月五日 光州監獄

專賣特許出願中 光澤壁塗料 右壁料を以て朝鮮銀行內外塗替致候 御庁での節御一覽を乞ふ 製造發賣 龍山漢江通十三番地（中學校前） 浦田商會 電話四四六番 取次所 京城旭町二丁目五十一番地 佐藤熊太郎 電話四七九番 京城長谷川町八十四番地 取次所 滿鮮工業社代理部 電話二四六七番 取次所 京城本町三丁目卅八番地 黑宮精逸 電話三三二番



京城本町二丁目 時計商 正午堂 電話長三〇〇番 振替京城二五二番

▼各種萬年筆修繕▼ 振替口座京城三〇〇番 京城日報代理部

京日案內 普通一回前金（匿名一回五十錢 番外一回前金（に拾錢增し） ▲申込後中途撤止の節は前金返戾せず ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通 京城太平町二の三〇 六疊三室床間付增築落成 電話二五六三 田浦屋 106

●時計職人一名及十五六歲の見習生一名至急入用 來談あれ 京城本町一丁目 平井勸賞堂 電話二二〇一番 98

●簡易活版寫眞巡業出資者 內外資金回收一ケ月の見込 同志來議 壽町三四 近江屋方 100

●看護婦募集（資格者及び見習）希望者履歷書携帶來談あれ 新町病院 99

●寫眞技術技手至急入用 少談父に履歷書送附申込ありたし 大郎府上町 獨立館 希望者は 101

●父に告ぐ 明年上京身體强壯至急渡鮮 無事通學 京城府鈴木町十一松山方 沖高明 秀叔父許 102

●讓渡 畑地、梨、林檎、桃、千五百本植付の儘讓渡し度し希望の方は來談あれ（姓名在社） 83

番外 各種ブラシ製造販賣 京城明治町二丁目 東洋ブラシ商會 103

恩給年金立替 即時取引退隱料一切千圓以上別契約 京城櫻井町（大平通向）元祖 博多屋 本店 104

貸地 京城本町一丁目五十一番地（京城府廳横丁所在）百八十坪餘御希望の方は京城南米倉町二百十三番地 爲永 宛申込まれたし 107

職業を授く 多少人格を要す 專業或は副業にても可、毎日午前中本人來談地方は履歷書急送せよ 京城明治町二ノ九八、竹の屋まで 89

恩給 年金長期 即時立替 勸業債券（五分利）額面以上特別高價買受銀行爲替付受放資之好斯不可逸 京城若草町百六番地電話三千十一番 西村商會 15

女の腕で外國人より五百萬圓

新機械發見し茲に一ケ年有利なる家庭的事業を紹介す 婦人子供老人の暇を利用せられ製造されたマニラ麻眞田の輸出高は一千萬圓其四分の一は皆工賃として我國に落ち國富の基をなしつゝあり一層此事業を發展せしめんと苦心しつゝありし東京淺草花川戶五三（電話下谷一四一二）丙辰商會及横濱市常盤町二日廿番地マニラ麻眞田輸出商近藤商店（電話長三四五五）にては丙辰式マニラ麻連續機を發明發賣し其作業簡單老人子供婦人衆にも容易に出來得るとにて好評噴々自今迄の麻繼とは全然異り該機によれば時間に四五本を一度にドシドシ自動的に連續し得る事とて日覺ましき收入も麻繼ぎの數倍を得る事確實機械は僅二圓八十錢同商會にては多少共原料麻を分讓し仕上品は永久現金にて引取る由尙詳細は同商會へ返信料封入照會せば無代價人說明書を送附す失業者不景氣を喞つ者閑ある人資金を有し事業なき人に紹介す又大規模經營の目的の方及び特約店志望者には特に事業發展上特別に相談に應ずる由

印刷インキ 製造販賣 初田活版所インキ部分離 京城明治町二丁目 フランス敎會西隣 櫻井商店

御待兼の六月新音譜著荷

義太夫 朝顏日記 伊賀越 同 大功記 同 先代萩 同 文屋 淸元 若葉 都山流尺八 白虎隊 薩摩琵琶 春の潮 新派劇 遊山船 落語 一の谷 江州音頭

（提供額半の價定はドーコレ印鷲）

京城本町二丁目二九 日本蓄音器商會 電話一二八三番 振替京城六四八番

移轉廣告 今般小店儀業務擴張に伴ひ從來の家屋狹隘を感じ左記に新築中の處愈々落成致し去る一日移轉仕候尙又新式の製菓機數台增設致し曾一層勉强可致候に付舊倍の御引立偏に奉願上候 京城府御成町五十五番地 人參キャラメル發賣元 藤製菓所 電話二三三二番

天然葡萄酒 貧血、虛弱、食慾不振、神經衰弱、產婦營養、胃弱、病後保養等に用ひて卓効あるは世已に定評あり 醫界の權威日本聯合醫學會は特に本品を退き逸りに選奬せられ且つ賞狀を與ふせるは以て是が信用と眞價をトするに足るべし ▼白札 金六拾五錢 ▼銀線 金九拾錢 ▼金線 金壹圓參拾錢 ▼紺札 金壹圓八拾錢 ▼王冠 金貳圓五拾錢 ▼金札 金參圓五拾錢 發賣元 東京 長井越作 代理店 大阪 田邊五兵衞

資本金參百萬圓 明治三十八年設立 當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切に取扱申候 京城府南大門通一丁目十四番地 株式會社 漢城銀行 長 男爵 李允用 專務取締役 韓相龍 電話 二六四六番 二三九番 振替京城二二〇五番 支店所在地 水原、平壤、大田、開城 出張所所在地 南大門、鍾路、東幕

花筐（はながたみ）

（二六）

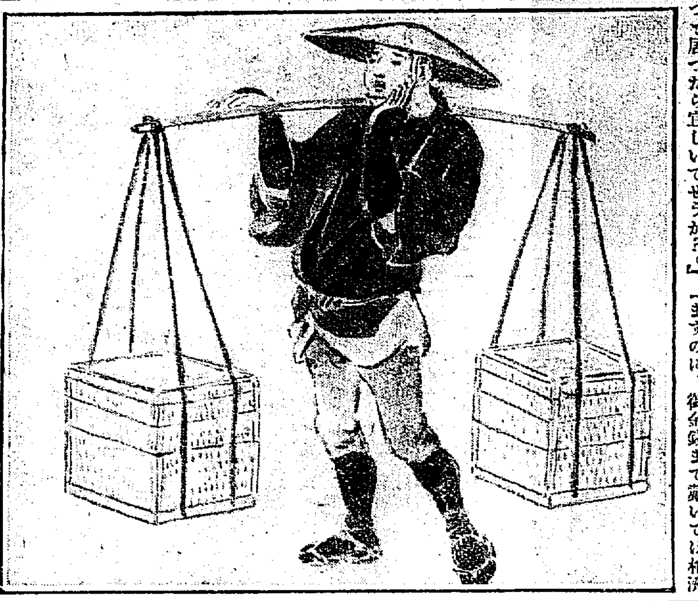
松田竹の島人作

京子は、自分が身を隱した爲めに夫誠信が狹斜の巷に出入せぬやうに爲り、尚ほ彌吉老爺の女のやうな、端ない婦人との醜行を愼んで、家庭が圓滿に爲つて往くならば、縱令可愛い花枝に逢はれないとしても、それが一生といふではなく、永くて一と月か二た月だから、田淵が言ふ通りに、暫くのところ身を隱さうと思つた。

『では御言葉に從ひまして、暫くの處、身を隱すことに致しませう。』

『今の場合、それより外に策はありませんよ。』

『身を隱すと致しますと、何處へ參つて居つたら宜しいでせうか？。』



『然うですね……箱根か熱海、又は修善寺あたりの温泉にでも、氣保養旁々往つてゐらつしやるんですね……それとも追々暑くも爲りますから、温泉よりか、何處か涼しい海岸の方が宜しいですかね。私が屢々御尋ねする便宜上、遠くよりか近いところの方が好都合ですね。』

『妾は何處でも構ひは致しませんが、餘り東京から遠くないところが宜しいやうに思ひますわ。』

『逗子なんか什麼でせうか？。逗子ならば、私の懇意に爲てる者が、貸別莊を持つて居りますから、其處を借りて上げることに致しませう。御飯を炊く老婆でも御傭きに爲つて、氣樂に一と月か二た月御暮しに爲るのですね。其中には、私が市野さんの方を巧く遣りますから。』

『では何分宜しく願ひます。』

京子は沈んだ調子で言つて、庇髮の頭を下げた。

田淵は、書齋へ起つて往つたが少時すると、手に鰐皮の二つ折の紙入を持つて出て來た。

『何處へ御出でに爲るとしても、肝腎なのは金錢でして』と田淵は言ひながら、紙入から五圓紙幣を拾枚取出して、

『失禮ですが、五拾圓差上げて置きますから、これを御使ひに爲つて居らつしやいまし、何れ其内に何程か御送りすることに致しますから。』

『一と方ならぬ御厄介をかけて居りますのに、御金錢まで戴いては相濟みません。それに手許に少しは持つて居りますから。』と京子が押し返すと、田淵は打ち消すやうに、

『無論御持ちでせうが、幾らあつても、無駄に爲らないものは金錢ですから、御遠慮なく御持ちに爲る方が宜しいです。御尊父には、中學時代から一と通りならぬ御世話に爲つてるのですから、これも御恩報じの萬分の一つです。』と田淵は殊勝なことを言ふ。

京子は、亡父に對する恩報じと言はれては、沁々と田淵の人と爲りを感じた。

『父が御世話した早見さんは、墮落の結果、行方を晦してお了ひでしたし、夫はあんな風ですし、父のことを言つて下さるのは貴方ばかりで、父が草葉の陰で甚麼に有難がつてゐるか知れませんわ。』

『什麼かして、御尊父に對する十分な御恩報じを致したいと思つて居りますが、心に任せませんで……』

『では御言葉に甘へて、此の御金は拜借致して置きます、何れ市野へ歸へる事に相成りましてから御返し申すことに致します』

『僅かな金、什麼でも宜しいぢやありませんか』

京子は五圓紙幣拾枚を受け取つて縮緬の紙入へと入れた。

表には雷鳴の聲が、睡む氣を誘ふやうに聞ゆる

湖南吟社句集

苔の花

頃は天平羅漢ぐづて苔の花　靜山
御墓所に近く綠眞似の子や苔の花　千里
掘り出てし大勾玉や苔の花　十亭
森道の乾かぬ岩や苔の花　待宵
通用門に除りの子猫苔の花　春三女
髑髏腐れに食ひ入る蟲や苔の花　桃雨
神に對す陰陽石や苔の花　風骨

鴉の子

親眞似て子鴉水に羽はたけり　待宵
五風十雨順に子鴉巣立せり　師山
子鴉や棚田の抗に親呼べり　中京
子鴉や鷄疲れ著く宿場の灯　十亭
松蘭の露背め盥くせ鴉の子　桃雨
夕雲迷ふ旅淋し杜に鴉の子　千里
巴瓦を辷り落ち晃鴉の子　風骨

□晋州より　其痴

老妻の送り來し衣更にけり
衣更配所耶否耶再びす
阿爺と共に衣更けり配所の兒
衣更て矗石樓に上りけり
衣更て鏡裡に豨の白さを慚づ

新刊紹介

▲組織的英文難句解（緒木弘著）解說篇と應用篇の二部門に大別し解說篇に於ては各官立學校受驗程度の英語にして難語難句難文と思はるゝものを網羅し之を八品詞に類別し對比較的簡單なる文例に就ては解說を加へたり應用篇に於ても亦同じく品詞に類別し稍分複雜なる文例に就て解說篇に於て解說せる所の應用を示せり且引用せる文例は受驗者の便益を思ひ凡ら各學校入學試驗に一度出題せられたるものを蒐集し之に校名年度を附記せり時節柄入學試驗季に入る中學卒業生には無二の良師友たるべし（七十錢東京牛込通寺町一四南北社）

▲最新複式商業簿記（商學士志爆都一郎著）平易に複式商業簿記の一般を習得せしむる事を目的とし第一第二編に於ては複式簿記の基礎的智識を述べ第三編に入りて仕譯稍々困難なる資產負債變化の整理法を說き第四編には前三篇の結論的解說を述べたり所說中一般簿記書の夫れと異る點少なからざるも之反て初學者には簿記の眞意義を了解するに易かるべし（九十錢東京本所表町六〇賛文堂）

▲大陸（六月號）支那問題と滿洲（根津一）滿鮮發策（稻田周之助）滿洲と金融貿易問題（楠木碩之介）日支兩國關係の任務（上田博士）等の論說を初め新開地生活と人物新渡戶博士現代女子の弱點（石黒男）文明社會と宗教（大谷光瑞）等の談叢錢の都たるべき立山と鞍山站、中東の果實、關東州の日本人通貨、滿洲の村落製絲等の產業に關するもの及人物月旦、經濟斷片、文苑碎屑圖畫（二十錢大連浪速町一八大陸社）

▲國語教育（六月號）植民地と國語政策（保科學士）文科の發亡（佐々醒雪）師人同化と國語教育（花田泰）入僧等教材觀、妹尾良彥、小品

文の價値とその指導、五味義武）創作指導上の十項目（新井顯一郎）文章分類の必要と其の方針（駒村徳壽）五十音の價値（佐藤鍬太郎）等々陸續掲の讀物にして特に教育家の一讀を薦む（二十五錢東京牛込白銀町二〇育英書院）

▲教育の實際（六月號）講說、研究界、教材界、新學界、雜纂其他の部門より成り數十の記事依例教育實際家の執筆に係る（二十五錢東京日本橋本石町三目社）

▲植民世界（六月號）植民省の設置を切望す（内田嘉吉）異種族の開發と娛樂機關の統一（社說）海外移民地に行く女（吉田興山）及小說雜錄等（二十錢東京牛込東五軒町五四共社）

▲學校教育（六月號）學制改革と外國語教授（春山文學士）想像に就ての研究（朝日文學士）獨逸力の檢査（岡部文學士）等如例（十八錢東京日本橋區本石町三賛文館）

▲近代藝術（六月號）歐西畫の戰爭文學へツベル新論、迷信に現はれた生活、最近の新劇壇其他十數篇（二十三錢東京牛込區原町三ノ二八共社）

▲日本支那歐洲及び交配鷄種飼育法（工藤文太郎編著）一般農家の養鷄に適する株外國種及び其の交配種に就て細目に渉り讀み省き要を摘みて最も平易簡明に記述せるものにして農家及び養鷄家は一讀の價値ありとせす（十八錢東京々橋區南傳馬町二丁目榮堂）

犬税增加に反對する憤怒生に告ぐ君等愛犬家は公衆道德の何たるを解せず唯々自己の勝手のみを主張すれども犬は狂犬病に罹るのみならず街路、店頭、庭園至る處に糞便を放射し行路者に吠へる等公衆の迷惑となること少なからず反之盜人を防ぎ狩獵に利用するは僅々千百中の二三のみ何れの點より見るも贅澤物たるは疑なし此贅澤物に對し重税を課するは當然にして我等の大々的贊成する處なり其の筋の統計に依れば畜犬、番犬をなす者には公租を怠るもの多しと某家主は云へり若し大家に家賃を怠るもの多しと或は然らん君よ犬税增加に反對するよりもつと外の問題に憤慨しては如何（犬税增徵贊成者）▲讀飛ばしたのも飛ばされたのも不注意が無い二人共體面を汚した郵便局に[illegible]すべし（仁川エスエス生）▲兎もすると狂犬々々と云ふ人が多い狂犬がそう〳〵澤山有てたまるものか唯狂犬として撲殺して置けば後の苦情が無い位の事に止まる部會前り狂犬が有る譯のものではない今日迄狂犬病にて死亡したる人を不聞注射の功あるや否は未だ知ず注射をせずに居る者四人あり其犬は狂犬として殺されたり嗚呼部會の犬よ實に可愛そーだ又愛犬家も可愛そーだ（愛犬大家）▲平生道でスリ違つても知らぬ顏の半兵衞でござりながら選擧が始まつてより此の方隨分念入りの依賴狀を寄越したり逢ふ時なぞは仲々ご愛憎が好い（人情如此）▲京城では路傍公園の設備がまだ無いから私等の樣な子供持ちは此頃の時候になるとその必要を感ずる（町底住人）▲私の方に電燈の點かぬ時會社へ修繕方を申込んだら直ぐ來て呉れたのが嬉しかつた（百燭生）▲兼て子供嫌な候補者の妻君が本町筋で會つたら坊ちやま大きくなられましたネは恐いた（南山生）

商況

大阪期米（四日後場）

▲底強く下遊る [illegible]

宮内省御用達
最上清酢
登錄商標 MARUKAN
品質及醸造高日本第一也
美味滋養に於て日本第一也
京城太平通二丁目
株式會社日本醤油京城出張所
電話二四五番

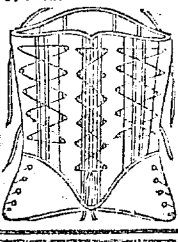
わきがは
人から きらわれる
▲音尾博士の創見
夏のアセが出る時より今が早く治療る

藥學界に名聲ある醫學博士音尾博士先生は男女わきがの人へ氣の毒に思ひ數年間苦心研究の結果今回最も進歩したる「チゼン液」と云ふ不思議にヨクキク信用ある藥を創成しました [illegible]
一寸素人ダマシの賣藥にて効能なくお困りの人も決して迷わずアセの出ぬ今の間に一日も早く此化學的藥物新藥劑にて全治の如しき御身となられよ
ハガキで申込めば直に說明書 [illegible]
東京府下淀橋町柏木百貳拾番地
東京博愛藥院

新式 好評
サック

豫防は治療に勝る！
[illegible]
エミヤ販賣部

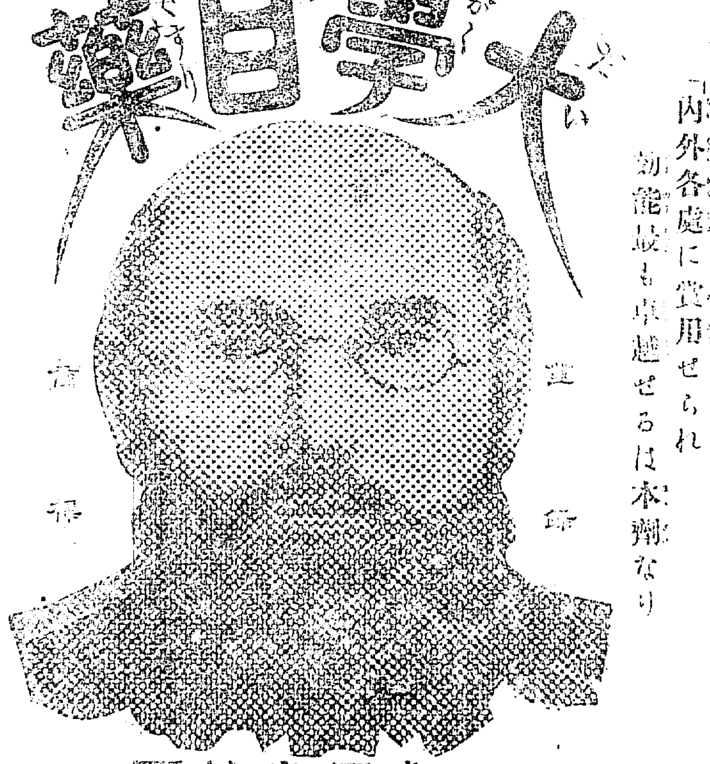
大口歡迎
質
京城黄金町 電話二九一六番
田村質店
商品擔保便利取扱

セキズイをナヲス器械

◎本器は最も進歩せる脊髓矯正器にして一度本器を裝用せば忽ちにして治癒す

瀨川醫學博士指導の脱腸止器
大きん玉治す
實用
脱腸バンド御入用ノ節ハ左右寸法を御一報願上候
京城本町一丁目五一 電話一〇六
義手義足專門 高野義手足製作所

登錄商標

藤澤樟腦
菖蒲の節句
武者人形やお道具に
樟腦印を忘れぬ樣
御注意肝要
定價（大）十二錢（中）七錢（小）[illegible]（菱石形大箱）五十錢（同小）十[illegible]
代理店 京城南大門通 新井藥房

めぐすり
大學目藥

登錄商標
内外各處に賞用せられ効能最も卓越せるは本藥なり
◎定價金十錢（[illegible]）大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基づきし貴重なる良藥にして●はやり目●星目●トラホーム●のぼせ目●疲目其の外眼病一切に驚くべき治効あり▲十歳以下の小兒の爲めに別に小兒用大學目藥あり
大阪 合資會社 參天堂藥房 發行

消化と健胃

仁丹
ボツ〳〵と惡疫の流行する時分誰方も仁丹召上り御用心が肝要!!
金言
民は惟れ邦の本、本固ければ邦寧し（尚書）

胃病良藥
ホシ胃腸藥
特約店 京城府太平通二丁目三〇五 キムラ藥房
東京市日本橋區本町三 星製藥株式會社
各地賣藥店にあり

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五三番二三一番
[illegible]
京城南大門 京城荷客取次店 松原運送店（電話長一七〇番）

○江原丸	六月十一日	釜山發
○京畿丸	六月十三日	
○黄海丸	六月十八日	
○咸鏡丸（門司より釜山各港寄港雄基北航路）	六月八日	
○穩城丸	六月五日	元山發
○昌平丸	六月十四日	
○鏡城丸（元山より各港經由雄基行）	六月十四日	
○昌平丸（咸鏡南道沿岸）	六月　日	元山發
○盛德丸（甘浦、九龍串、浦項各地寄港蔚陵島行）	六月　日	釜山發
○江陵丸 ○襄陽丸（長生浦方魚津寄港）	毎　日	釜山 浦項發
○三浪丸（長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港）	六月五日	釜山發
○海州丸 ○結城丸（各港寄港麗水行） ○巨濟丸 ○慶贊丸	毎日	釜山發
○平壤丸（城津清津雄基行）	六月四日	元山發
○順天丸（各港寄港麗水行）	三日巨濟丸ニ	木浦發
○慶興丸（各港經由濟州島行）	六月四日	木浦發
○慶興丸（多島海列島行）	六月　日	木浦發
○公州丸（各港經由濟州島行）	六月七日	木浦發
○龍水丸 ○晋州丸（各港經由木浦行）	六月七日	仁川發
○宗信丸（海州他各港經由鎭南浦行）	六月　日	仁川發
○全州丸 ○南陽丸（江華島、喬桐島、海州行）	毎日午前	仁川發

仁川代理店 本町四丁目（電話一七三番） 野口商會
元山代理店 春日町（電話二四七番） 田口回漕部
京城取次店 南大門（電話二六八・二〇一七） 河村運送店

共同汽船出帆

阿波共同汽船株式會社
○芝栄、大運行 六月三日 午後入港 六月五日 前十時出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡運送取扱仕候大阪にて商船行定期船接續各港連絡乘送可仕候

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大有丸 六月十二日 後四時出帆
○君が代丸 六月七日 後四時出帆
○秀吉丸 六月四日 後四時出帆
○神代丸 六月九日 後四時出帆
仁川海岸通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪屋號書店
京城本町一 電話六・二六六 振替京城二五七三番

最新刊

◎進むべき道	南條文雄	一、三〇
◎手工科新教材集成	岡山秀吉	一、八〇
◎小學校に於ける校外教授と遠足	野澤正浩	一、三〇
◎兒童の實驗を本位とする理科教授の實際	山本貞之助 長澤末次郎	一、〇〇
◎圖說ケ丁作法要義	吉田章信	一、九〇
◎新編球算提要	川村貞五	八五
◎有職故實辭典	加藤貞次郎	一、五〇
◎臺灣の歌謠と名著物語	平澤丁東	一、〇〇
◎青年關及比教育	湯原元一	八〇
◎ロワツエ	京都哲學會編	一、二〇
◎大正六年度朝鮮職員錄	總督府編	五五
◎關原ヶ助歷代鑑	中村秋湖	七〇
◎修養の力	谷口菅淵	五五
◎實用百科女房の研究	日下部全輝	一、〇〇
◎滿蒙現勢圖	滿鐵調査編	六五
◎諸體かな帖	島村不老	四〇
◎釣天井	福井青葉	一、〇〇
◎佐倉史談	旗田巍城	一、〇〇

◎運動具文房具澤山著荷致候御報次第早速御覽に入れます